



# サンフランシスコ少額請求裁判所における事件処理

檜村, 志郎

---

**(Citation)**

神戸法学年報, 4:129-210

**(Issue Date)**

1988

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(JaLCD0I)**

<https://doi.org/10.24546/81005112>

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005112>



# サンフランシスコ少額請求裁判所における事件処理

樫 村 志 郎

- 1 序
  - 2 方 法
  - 3 少額請求裁判所の当事者
  - 4 少額請求裁判所の事件
  - 5 手続き的処理のパターン
  - 6 少額請求の執行のパターン
  - 7 結 論
- 図 表
- 付録1 事件一覧表
- 付録2 電話インタビュー結果
- 付録3 訴訟申し立て、送達用書式

## 略 語 表

○ 以下の表および本文のなかでは、いくつかの略語が使われている。それらの意味はつぎのようである。

\*当事者の区分と組合わせ

I：個人当事者

O：組織体当事者

IM：個人男性当事者（男性共同当事者（1件として計算）を含む）

IF：個人女性当事者（女性共同当事者（1件として計算）を含む）

IMF：男女共同当事者(1件として計算)

II：個人原告対個人被告事件

OO：組織体原告対組織体被告事件

IO：個人原告対組織体被告事件

ALL：すべての当事者組合わせ事件

OI：組織体原告対個人被告事件

\* 請求額階級

1：\$1～\$300

4：\$901～\$1200

2：\$301～\$600

5：\$1201～\$1500

3：\$601～\$900

\* 請求内容区分

1 または SS：商品またはサービスの供給者からの代金や料金請求

2 または SL：金銭貸借債務の支払請求

3 または SR：賃貸借にもとづく賃貸料請求/または、不法占拠にもとづく明け渡し請求

4 または SO：その他の伝統的請求(窃盗者への損害賠償請求など)

6 または IS：商品またはサービスの供給を受けた者からの損害賠償請求や代金返還請求

7 または IL：金銭貸借の債務者からの請求(債務の不存在の請求など)

8 または IR：賃貸借にもとづく賃借人からの請求(敷金返還請求など)

9 または IO：その他の伝統的でない請求(被雇用者から雇用者への請求など)

10 または CA：自動車事故にもとづく損害賠償請求

90 または NS, UK：事件記録上内容が特定されていない(NS)、または不明(UK)の請求

## \*手続き的決定区分

- 1 または PW：原告のみ勝訴
- 2 または DW：被告のみ勝訴
- 3 または BW：双方勝訴（被告からの反訴がある場合）
- 9 または NW：双方敗訴（被告からの反訴がある場合）
- 4 または SE：裁判外（出頭期日前）和解
- 5 または TR：別裁判所に移送
- 6 または NJ：裁判なし
- 7 または CD：取り下げ
- 8 または NS：送達不能
- 0 :不明

## \*出頭状況

- 0 または 不明：不明
- 1 または 双方：双方出頭
- 2 または 原告：原告のみ出頭
- 3 または 組合：1、2、4の組合せ（期日が複数ある場合）
- 4 または 被告のみ出頭

（付記） 本稿は、現・新潟大学教授であり、先頃還暦をお迎えになった竜寄喜助先生に謹んで献呈される。先生は、本稿の基礎となった生活紛争研究会を始めとして、著者が参加することのできた多くの研究プロジェクトの指導者の一人であり、自由で批判的な議論を通じて常に著者を力づけてくださっている。拙いものであるが、その御学恩に感謝する徴しとして本稿を捧げたい。

なお、本研究は、科学研究費補助金（海外学術調査、課題名「少額裁判制度の実態研究」）による助成をうけた。

## 1 序

もめごとに巻き込まれた個人や組織は、そのもめごとからの救済をもとめて下級裁判所に訴え、ないし請求（法律上の救済を求める公式の要求）を提起し、法的な争点についての手続き的決定を得ることができる。この過程を裁判、または請求の手続き的処理といふことができよう。

裁判というこの制度の現実、法律家が意識し、称賛し、利用する理念型とはつねにいくつかの根本的な点で違ったものである。いくつかの違いをあげるなら、それは社会のメンバーに平等に開かれた制度ではなく、またそれはつねに、当事者の満足や事案の実質的に適切な解決（それらが適当に定義されるとして）をもたらすものでもない。現代の社会的諸条件のもとでは、これらは事実として近似がきわめて困難な理想にとどまる。以上の事実は、裁判の法律家的理念型と区別される、いわば批判的理念型を構成する要素として、広く認識され、批判や改革の提案に利用されている。

この研究は、アメリカの少額請求裁判所における請求の手続き的処理について明らかにすることを手がかりとして、この批判的理念型をより社会的に精密なものにしようという実践的意図にもとづいている。この作業を行うために本稿では、つぎのような認識を手がかりとする。

裁判制度の理想化的理念型と批判的な理念型とのあいだに深い溝があるとしても、そこから裁判制度の事実がいかなるものかということは明らかにならない。裁判制度の事実としての動作はその社会の構造的な諸条件によって支えられつつ定められているはずであり、裁判の理想と現実の間の溝は、社会的事実の構造に規定された規則的な逸脱として捉えられるべきものである。もし裁判制度に対する批判的な解明が継続されていくべきであるとすれば、その規定の様相がなお明らかにされる必要があるであろう。

ところでアメリカの少額請求裁判所については、わが国の簡易裁判所や裁判

一般との対比において、言及されることが多い。しかし、その場合、個々の事件単位の比較かそうでなければおおまかな制度の表面的な比較が主とされており、いずれの社会のどんな裁判も、その手続き的請求処理という行動自体を通じて、その他の公式的、非公式的な社会的、経済的、ないし政治的制度との関係のなかで活動しているという観点が、みすごされがちのようである。

本稿は、サン・フランシスコの少額裁判所の記録をデータとして、現代の大都市における最下級裁判所の任務が現実にもどのようにして達成されているか（あるいは、その裁判の理念型からの逸脱がどのような規則性に従って生じているか）、について基礎的な像を提示しようとするものである。

ただし、本報告は、データの上でも、分析の上でも、後にのべるような、いくつかの基本的な制約を持っているので、一つの裁判所の活動の包括的な報告というよりも、とりわけ現代の大都市における裁判所の活動を批判的かつ比較社会的に吟味しうる理念型を構成するための単なる探索的、中間的な報告とみなされるべきである。

## 2 方 法

本稿で検討するデータは、生活紛争研究会（MD研究会・代表新堂幸司）が1983年におこなった、欧米諸国の少額の法律事件の処理に関する、より大きな調査の一環として収集された。このデータは、少額裁判制度の活動に関する一般的な情報を得るために、サン・フランシスコ市＝郡の都市裁判所（Municipal Court）の少額請求裁判所（Small Claims Division）のファイルから、417件の事件について収集されたものである。

調査は1983年10月におこなわれた。ファイルからの情報の転記のためには、地元のロースクールから学生8名が雇い入れられた。

予備調査という性格および調査者側と裁判所側の時間と費用の制約から、前年の初め（1982年1月分）から順に1件づつ個々の事件の訴状を中心とする文書記録を収めたファイルを取り出していくという方法で情報が収集された。ファイルは事件番号（受け付け順と思われる）ごとに紙箱に入れられていた。

このサンプルはランダムではない。従って、本調査の結果を一般化することは統計的には支持できないということになる。例えば、サンプルの判決日は当然1982年初め（1月から3月）に集中しているので、統計的諸結果をそのまま1982年全体の傾向を推測する基礎とすることはできない。しかしわれわれの目的は少額請求裁判所という制度がほぼどのようなものか、を明らかにすることであり、少額請求の全体の類型的構成に小さな季節的変動があるかもしれないとはいえ、ある特定の内容をもつ事件や当事者が裁判所でどのような取り扱いをうけるか（例えば、判決日と実際に支払が行われた日の間の期間）など多くの点についての傾向は季節的な変化の影響を比較的に免れていると推測することが許されているといえよう。

各々の事件の処理を記載するこのファイルは、当事者の訴状を含み、事件ごとに作成され、当事者氏名、請求内容の簡単な記述などを含んでいる。各事件

に関する情報は、すべてこのファイルの記載に従って、つぎの点について収集された。(1)訴訟の原告、被告の各氏名、(2)請求されている金額、(3)請求の理由ないしそれを基礎付けている事実関係の説明、(4)判決の有無および判決日、(5)勝敗その他の結果、(6)判決において正当なものとして認容された額、(7)判決において正当なものとして認容された訴訟費用の額、(8)判決において認容された額の支払の有無およびその報告日、(9)強制執行の記載の有無(一部のサンプル)、(10)当事者の裁判所への出頭の状況(一部のサンプル)。さらに、勝訴が確認された原告当事者に対しては、事件記録にあらわれていないかもしれない支払の有無や支払の状況や態様を確認するために電話による調査が行われた(その結果は付録2 電話インタビュー結果に掲げてある)。

これらのデータはパーソナルコンピューター上でつぎの点についてコード化された。(1)訴訟の当事者の役割(原告か被告か、単独当事者か共同当事者か)、(2)訴訟の当事者の種類(組織体か個人か)、(3)訴訟の個人当事者の性別(男か女か)、(4)請求内容、(5)請求額、(6)認容額、(7)獲得率(認容額の請求額への比率)、(8)認容費用額、(9)支払日数(判決日から支払報告日までの日数)、(10)出頭状況、(11)支払の態様、(12)電話インタビュー結果(その結果は付録1として一覧表にしてある)。

本稿で報告しようとするのは、これらの情報の単純集計およびいくつかのクロス集計の結果に基づく(なお、図表は158頁以下に本文にひきつづいて掲げてある)。

まず、サンプルの全体について、

表1は、判決日と支払報告日のサンプルにおける分布を示したものである。

表2は、コード化された変数について情報がえられた件数ほかを示している。

### 3 少額請求裁判所の当事者

#### (1) 組織体当事者と個人当事者

少額裁判所のファイルに表れる当事者は、個人か組織体かによって分類することができる。もっとも、個人の名前で商業を営んでいる当事者は小さい組織体ともいえるし、商業の領域で主に生活している個人であるともいえるので、この二分的カテゴリーは一見して思われるほどはっきりした分類ではない。

われわれにとっては、当事者が形式的に自然人であるか組織体であるかということよりも、当事者がどのような社会的なネットワークのなかに組み込まれているかに着目することが、より適切であるといえよう。個人の当事者の記載の一部のものは、“dba”という語を伴っている。これは、「…の名で商売をしている」という略語であり、純粋に個人である個人当事者から商業関係の活動に関係して当事者になっている個人当事者を区別する手がかりとなる。後者は、その者を裁判所にもたらした社会的活動の点でむしろ組織体当事者とみなされるべきだといえる。そこで、この「商業的個人当事者」を組織体として分類し、さらにその当事者が原告として裁判所にあらわれているのかそれとも被告としてあらわれているのか、に従って417件の事件を分類したものが表3であり、複数の事件に表われた当事者について詳しく述べたのが表4である。

この分布を二つの側面から見ることができよう。

第一に、個人は、原告としても被告としても少額裁判所の多数の事件で登場する。大都市の第一裁判所を全体として見た場合、裁判所の頻繁な利用者は原告としての地元の組織体であるといわれている（ワナー、文献⑩）。われわれのサンプルにおいても当事者の記載から、組織当事者が地域の組織体（市、地元の商店や企業、電話会社、クレジット会社など）であることが推測できる。ただ、サンプルの数に明白な違いがあり、またわれわれのデータの代表性には既に述べたような問題があるものの、われわれのデータではむしろ個人の当事

者が多数派であることは注目に値する。カリフォルニア州の少額裁判所では、弁護士による訴訟代理が許されていない（文献①）。このことが組織体の裁判利用を抑制し、個人を当事者としてあらわれやすくしていると想像することができる。

第二に、裁判所において原告としての役割は被告の役割よりも優位なものであると一応考えるならば、組織体は、個人よりも優位な役割をしめる傾向がある。つまり、組織体は原告の43.2%を占めているが、被告の30.9%を占めているにすぎない。このことは、相対的にもいえる。個人が原告となる事件のうち39.1%が組織体を被告とするものにすぎないが、組織体が原告となる事件のうち79.7%が個人を被告としているのである。組織体どうしが訴え合う事件は全体の8.9%を占めるにすぎない。こうした傾向は、ワナー（文献⑩）が明らかにした民事全事件についての傾向と一致する。

このパターンの原因の一つは組織体が時間や費用の点で個人よりも豊かな裁判利用のための資源を持っているという事情であろう。しかし、資源があるからといって必ず訴訟が提起されることになるわけではないことに注意する必要があり（メイヒューとリース、文献⑨）、とりわけ、組織体が「訴訟を提起するための資源を豊かに持っている」ということから、組織体が組織体にとっての被告にさえもなりにくいということの説明を見いだすことが難しい。

要約すると、個人当事者の数が多いので、個人当事者どうしの争いは、少額裁判所の代表的な事件類型の一つであるといえる。しかし、少額裁判所におけるもう一つの典型的な事件は、組織体が個人当事者を訴えるというものである。これに続いて頻繁にみられるのは、個人当事者が組織体を訴えるという事件であり、全体の22.1%を占める。組織体どうしの争いはこれに反して稀であるというべきである。

## (2) 男性当事者と女性当事者

各個人当事者のファーストネームが記録されているので、大部分の個人当事者についてその性別を推測することができる。表5は、個人当事者について、その性別と役割（原告か被告か）の関係を表わしている。

表5は、性別と裁判役割の間にはほとんど系統的な関連がみられないことを示している（不明ケースを除いたクラマーのコンティンジェンシー係数  $Cr = 0.03$ ）。つまり、女性も男性も同じように原告よりも被告としてあらわれやすいし、同じように原告ないし被告としてあらわれやすいのである。

その一方で、男性が女性よりも原告被告という役割の別を問わず頻繁に訴訟にかかわっているという傾向ははっきりしている。（サン・フランシスコ市＝郡の人口は約71万人で、性別の構成は不明であるがアメリカ全国の性比では女性が5%ほど多い。）

少額請求事件の当事者はどのような性別の組合せになっているのだろうか？表6にその結果が、組織体当事者も含めて示してある。

表6からは、被告の選択の点において、組織体、個人男性、個人女性などの間でいくらかの違いがあることをみいだすことができる。組織体原告はとりわけ個人男性を被告として訴える傾向があると指摘できる。これに対して、個人原告のうち男性、および度数が少ないけれども男女共同の原告は組織体を被告に選ぶ率がその他の原告カテゴリーよりも高くなるといえる。これに対して、女性の原告は男性の個人被告をより選ぶ傾向がみられる。

このパターンはおそらく日常的にも男性のほうが組織体との交渉の機会が多いことを反映しているのであろう。

#### 4 少額請求裁判所の事件

裁判所の事件ファイルには、訴訟によって請求されている金額（請求額）、およびその請求の根拠となる事実関係の記載がある。当事者の類型的な組合わせの情報に加え、この二つの側面から少額裁判所の事件への反応の性質をあきらかにすることが期待できるだろう。

まずわれわれは、少額裁判所の事件の性質を、請求額および請求内容から明らかにすることを試みよう。つぎにだれがそのような事件を提起しているのかを調べることにしよう。

##### (1) なにが訴えられているか？

まず、請求額の分布をみると表7のようであり、累積度数分布を図示すると、図1のようになる。請求額300ドルまで事件の累積度数は急激に増大し、全事件数の4分の1まで近づく。それ以上の請求額では増加率はしだいに低くなり800ドル程度からさらに低下するが、最後の階級である1400～1500ドルで著しく増大することがわかる。このような変化を考えて、請求額を略語表に示したように5階級にまとめておくことにする。

つぎに、請求内容を見ると、多くのものが、法律的構成は別として、[1]商品や家具やその他の物品やサービスの供給をめぐる争い、[2]金銭の貸借から生ずる争い、[3]家屋や部屋の貸し主と借り主とのあいだの争い、[4]自動車事故をめぐる争い、に属することがわかる(付録1事件一覧表を参照されたい)。さらに、[1]から[3]までの請求のなかには、物品の供給者からの請求(代金請求など)などばかりでなく物品の買い手やサービスの消費者からの請求、金銭の借り手からの請求、家屋や部屋の借り主からの請求などが少数ではあるが存在する。これらは同じ対象をめぐるものであっても性質の異なるものであろう。とりわけ、少額裁判所が個人の生活上の請求を表明する場であることを期

待する立場からは、これらの請求に対して裁判所がどのように反応しているのかを知りたくなるだろう。

当事者が組織体か個人か、または男性か女性か、という点の区別に加えて、請求内容が財の広い意味での生産ないし供給者（物品やサービスの生産／供給者、金銭の生産／供給者、住居の生産／供給者など）からの請求であるか、それとも財の消費者からの請求であるか、という点からの区別をおこなうことにより、裁判所がいかなる者の利益を保護しているか、についての別の判断基準——内容的な伝統性／革新性ともいべき基準——があたえられる。裁判所制度が伝統的に前者の型の請求を保護しようとしてきたことはあきらかだからである。この観点からは、交通事故は、両者の中間に位置する請求関係となるといえるかもしれない（もっとも、事故の当事者の社会的経済的地位の相異は関係の伝統性／革新性の軸上で変化するであろうが、それについてはファイルから情報がえられない）。

このようにして、請求の基礎となる事実関係は当事者のおおまかな法的立場に従って、比較的法的・社会的に優越した伝統的立場からの請求群と比較的に劣った革新的立場からの請求群とに両分類される。そのようにして区分した請求を含む全請求の基礎別の度数分布が表8である。

表8によれば、おおかれすくなかれ伝統的立場の者からの請求事件は、全体の6割を占めている ( $256/417 = .6067$ )。そしてその大多数は、商品・サービス供給、貸金請求、賃料請求をめぐる法律事件である ( $(116+70+53)/253 = .945$ )。一方、伝統的でない請求事件は、全体の2割 ( $91/417 = .2182$ ) である。その大部分が商品・サービスの消費から生じている ( $60/91 = .659$ )。交通事故から生じた請求は全体の1割強 ( $56/417 = .134$ ) である。それは数としては商品・サービスの伝統的請求、同革新的請求、貸金（伝統的優位者＝貸主）請求につづいて全体の4位で、家主からの賃貸借関係請求とほぼひとしい。

以上からは少額裁判所は、伝統的に法的によく保護されてきた請求に広い場

所をあたえているといわなければならない。ただ、法的に革新的な請求のなかで、商品・サービスに対する消費者の苦情（後掲事件一覧表中第2、4、6、24事件など）については比較的保護の範囲が広いといえる。これは、商品・サービスの取引関係はすでに全体として比較的、利益の限定性、証明可能性、強制可能性などの「法律的」な性質をもっていることによるのであろう。

## (2) だれがなにを訴えているか？

組織体がおこなう活動は個人のおこなう活動と異なったパターンをもつであろう。従って、組織体と個人、組織体どうしまたは個人どうしのあいだに生じてくる事件もまた互いに異なる性質をもち、裁判所でも互いに異なる取扱をうけることになる予想される。

請求額や法的な請求内容については、当事者が、その固有の生活上の利害関心から定めるものであるとともに、具体的な社会制度としての裁判所の活動のあり方を予想しつつ定めるものであろう。その間の因果的関連がどのようなものであれ、われわれは請求額や請求の法的な内容と当事者の社会関係の間になんらかの適合関係を想定することができるであろう。以下では、そのような適合性をできる範囲で推測してみよう。

表9は、原告か被告か、組織体か個人か、およびどの性か、という観点から構成された16の当事者の組み合わせのそれぞれについて、請求額の既知である事件の度数と全体に対する百分率の分布を表したものである。請求額を300ドル刻みで5階級に分類し、分割表にしてある（合計は408件）。

表9の80の細目のうちどの単独のカテゴリーも全体の10%に達していないが、比較的多くの事件数を集めているカテゴリーと全体に対する百分率（カッコ内）はつぎのとおりである。組織体が個人男性を被告とする300ドルまでの事件（6.13%）、個人男性が組織体を被告とする1201ドル以上の事件（5.39%）、組織体が個人男性を被告とする1201ドル以上の事件（4.90%）、組織体が個人

女性を被告とする300ドルまでの事件 (4.90%)、個人男性どうしの301ドル以上600ドルまでの事件 (4.41%)、同じく1201ドル以上の事件 (4.41%)。

その他の多くの項目を通ずる分布に目を向けると、多くの当事者組合わせカテゴリーで300ドル未満の事件と1201ドル以上の事件の数が比較的が多いことがわかる。ただし、個人男性が原告となるカテゴリーでは、被告が個人で請求額300ドル未満の事件について、それはあてはまらず、301ドル以上600ドル未満の事件が多数になっている。

1201ドル以上の階級では、少額裁判所の管轄上限である1500ドルを本当はこえる事件が、手続きの簡易さやとくに弁護士代理の不要であることなどの事情から、少額裁判所に提起されているのかもしれない (その一例は第73事件)。そしてこの事情は組織であるか、個人であるか、どの性であるかにかかわらない効果であるといえる。

300ドル未満の事件が多いことに対してはどんな説明が可能であろうか。300ドル未満のトラブルが一般に多いのかもしれない、しかし、訴訟に関係が深いのは、少額であっても重大なトラブルであるはずである。300ドル未満の契約関係や商品や負債は数が多いかもしれないが、それが訴訟に持ち込まれることの説明が与えられるためには、さらにそのトラブルがいかなる意味で重大であるのかについての理解が必要である。そうでなければ、個人男性原告事件にみられる不規則性の十分な説明にもならないだろう。

この最後の点についてより十分な説明といえるのは、〈裁判に持ち込まれやすい事件群の内部で、個人の遭遇するトラブルと組織体の遭遇するトラブルとが、異なったものである〉ということであろう。表10は、請求内容の分類を第3の変数として表9に導入したものである。個人対個人の事件でのみ表の縦にとった請求額階級の第2階級 (301ドル以上600ドル以下) の総計の増加がみられるが、それは請求内容別にみると実は賃料請求の事件と交通事故の事件でのみにいえるにすぎない。

交通事故というトラブルから生ずる請求については、表10から一般に、300ドル以下の請求が提起されることが起こりにくいといえる。ところで、そのようなトラブルに巻き込まれるのは、たいてい個人なのである。(個人はまた事故のための保険をかけている度合いが比較的到低いために、そのようなトラブルに巻き込まれやすいともいえよう。)少額の請求が提起されにくいそのようなトラブルに巻き込まれるのが主に個人なのである。

賃料請求の事件では、個人が原告になる場合には、全体の傾向とは異なって、300ドル以下の請求が比較的に起こりにくい。これは賃料の1ヶ月分などが請求の単位または閾値になるからであろうか(300ドル以下の賃料の住居より、301ドル以上600ドル以下の住居のほうが多そうである)。賃料請求事件も個人が組織体よりも、より遭遇しやすいトラブルであるといえる。

個人男性原告事件において最小階級額の請求が行われにくいことの説明は、個人男性がこのような交通事故や賃料請求の事件の当事者になりやすいという事情で与えられる。個人女性も同様の事情のもとにあるが、男性は、全般的により自動車を頻繁に用いるし、また賃貸人として家族を代表して提訴を含む行動の主体となることがより多いといえよう。表10-2、表10-3はそれぞれ、個人男性の原告事件、個人女性の原告事件について部分的に集計したものであり、この二つの請求について男性が女性の3倍以上の訴えを提起していることがわかる。

この2つの請求類型では、おそらく300ドルにみまない損害などは、裁判所に提起されることなく、自発的に支払われているか、とくに賃料請求権の場合には累積してより重大な損害となるまで放置されるのであろうと考えられる。

ここでつぎのような一般的な傾向に注意しておくことが有益である。それは、トラブルはそれへの関与者を提訴やその他の行動に促す「客観的な性質」を持っているというわけではない、ということである。メイヒューとリース(文献⑨)が発見したように、当事者が資源を持たないということが、法的機関の日常的

な生活パターンの構造を媒介として、法への接触（弁護士への依頼）の必要を生み出すことがありうる。一般的に、法的問題がある社会で何になるかはその社会の法的機関の活動にも依存するのであるといえるのである。

さらに考えると、ある法律問題がそもそもいかなる価値をもつかということさえ、少なくとも部分的に、その問題への関与者の日常的な活動のパターンに依存するともいえるのではないだろうか。なぜなら、さまざまな問題をとりまく対処の社会的制度が互いに異なったものだからである。

一般に損害は放置することによって次第に大きなものとなる。例えば貸金には利息がつく分損害総額が大きくなっていくし、賃料は月ごとに累積していく。そこで、少額の事件が裁判所に提起されている場合の一つの説明は、被害者である原告によって被害に対する比較的早期の対処が行われている、というものであろう。

ここからさらに、損害の累積性が高い場合において、少額の事件が裁判所に提起されるのは、被害に対する早期の対処が可能にされるような社会組織的条件がある場合であるという推測が導かれる。

ある種の組織体の原告はそのような条件のもとにある、と私は推測する。消費者金融会社や百貨店の組織体原告は現代社会の組織体原告の代表である。これらの会社は、高い流動性をもつ大衆を大量取引の相手としている。そのような取引関係では、被害や負債を放置しておくことのコストは比較的急速に増大すると考えられる。そこで、これらの（潜在的な）原告は、取引上のトラブルに対する早期の対処へと促されるのではなかろうか。表10のうち組織体原告の300ドル以下の、対個人・商品・サービス事件（37%）、同・賃料請求事件（77%）、対組織体の商品・サービス事件（29%）同・賃料請求事件（50%）の同種事件中にしめる割合の比較的高さはこのことのあらわれとみなすことができる。（ただし、消費者金融会社から債務者への請求とみられる組織体原告個人被告事件は以上の傾向の例外であり、1201ドル以上の事件を別として一

—これは全体的なパターンと一致している—各請求額階級間であまり差がないといえる。これは金銭貸借上の債務の重要性はほぼ金額の増加とともに増大するだろうが、トラブルとしての重要性は被告がその債務を支払える財政状態であるかどうかによって定まるだろうから、債務の額そのものとの関係は直接的なものとはならないという事情などによるのだろう。

以上の他の比較的に数の多い事件は、個人原告から組織体被告に対する商品・サービス消費をめぐる請求である。このカテゴリーでも300ドル以下の請求が比較的多くなっているようである。これらの個人は組織体原告に対して、組織体が個人被告に対するような早期の対処が可能であるような条件のもとにあるとは思われない。現代社会においては、個人は容易に複数の供給者から同様のサービスをうけとることができるので (Felstiner、文献⑤)、個人原告がある特定のサービス供給者 (組織体被告) との関係において損害を放置しておくことのリスクは大きくないからである。それにもかかわらず、個人原告が少額の損害について組織体を訴えるとすればそれはなぜであろうか。一つの説明は、個人が、少額であってもその事件に金銭的価値をこえる関心をもっているというものであろう。個人は複数の供給者をみいだせるかもしれないが、十分に多様なサービスをみいだせないかもしれない。消費者の享受しうる商業的サービスは画一的でありうる (その端的な例は貧困者の生活における低級なマーケットへの「とらわれ」(Caplovitz、文献③) である)。その場合には、消費者の問題関心は特定のビジネスの責任ではなくて、かれらが「とらわれ」ているビジネスの「慣行」の是正というものになるだろう。(Steele、文献⑦)。この事情は個人消費者を提訴へとうながすに充分であろう。

本節で述べてきた分析はおおむね推測の領域にとどまるものである。これらの推測を確認するには裁判制度の外の社会的制度 (例えば、貸金取立の社会組織) に直接目をむけることが必要になるであろう。この問題をさらに追求していくことはこの研究の範囲をこえる。そのかわりに以下ではわれわれは、裁判

所のなかで諸事件がどのような取り扱いをうけるのか、という問題を取り上げていくことにする。

## 5 手続き的処理のパターン

### (1) 法廷への出頭

裁判制度においては、当事者の双方が法廷に出頭することは決定のために必要な条件ではない。一般的には、当事者の双方が出頭するのは、事件について実質的な対立がある場合であると考えられることができる。裁判が社会的に深刻な争いに決着をつける方法であるとすれば、当事者双方が出頭することは、当事者の裁判制度への実質的で創造的な（参加）の度合い（櫻村、文献⑧）を知る指標になるといえる。以下では、裁判制度への参加の度合いが、請求額、請求内容、当事者の諸類型によってどう変化しているかについて調べてみよう。

出頭状況についての情報は調査の途中から項目に加えられたので、情報がえられた事件は少数である。表11は、出頭状況別の事件分布を全事件について示し、表12はそれを当事者組合わせ類型ごとに示したものである。

これらの表からいえることは、当事者双方が出頭する事件は情報が得られた事件の半数余りであるけれども（これが全体にあてはまる傾向であるかどうかの保証はないが）、その比率は当事者組合わせ類型によって大きく異なるということである。全体の比率の相対的な低さは、組織体原告対個人被告事件における双方出頭事件比率の例外的な低さによるものである。この種の事件では、さらに、双方出頭事件に比べて原告のみの出頭事件がかなり多くなっている（25.7%対74.3%）のに対してその他の当事者組合わせではそれは一貫して逆である（それぞれ、65.8%対34.2%、70.0%対30.0%、66.7%対33.3%）。

表13-1、表13-2、および表14-1～表14-3は請求内容類型別および各当事者組合わせ別に全体（103件）の出頭状況をあらわしたものである。まず全体の傾向をみると、とりわけ金銭債務の請求事件と、より弱い程度で商品・サービスの供給者からの請求事件では、双方当事者の出頭が起りにくいようである。しかしこの背後にも、当事者組合わせ類型ごとの差異が隠れていると

考えることができる。個人原告対個人被告事件では、商品・サービス供給からの事件のすべてが双方出頭であるし、組織体原告対組織体被告の事件でも（少数であるが）そうである。一方、組織体原告対個人被告事件では、すべての請求カテゴリーについて、原告のみ出頭の事件が優越している。また、個人原告対組織体被告事件の半数は商品・サービスの消費者からの請求であるが、原告のみ出頭事件はその20%（10件中2件）をしめるにすぎない。

要するに、少額裁判所の事件処理においては、当事者とりわけ被告の役割をしめる者の参加の度合いには、当事者の組合わせおよび請求内容類型によって差があるといえる。そしてここでも、請求額型と当事者組合わせの双方の点で、組織体が原告である場合の個人被告に与えられる手続き的場所は狭いものである。

表15は、出頭状況と主要な終結類型との関係を示している。双方の当事者が出頭する事件においては約30%（103件中16件）が被告の勝訴におわっている。そのうち組織体原告に対して個人被告が勝訴した事件はただ1件（第332事件）にすぎない。

## (2) 手続き的決定の状況

事件が法的手続きに持ち込まれているからには、法的請求に対する手続き的決定が行われる。ここでは手続き的決定とは、ある法手続きの終結の特点で個々の請求に与えられる類別ないし性質規定をいうことにする。手続き的決定は、事件の事実や法の規定などの既存の性質に基づくものであると理解されるが、当事者や裁判官にとってのその実践的な意味は、その事件が「これからいかなる取り扱いをうけるのが正当であり通常であるか」を指示してくれるところにある。それは、手続きの当事者に対して権利を確認するが、同時に、将来に向けて当事者その他がさまざまな形式での支払の請求やその行為を行う基礎となっていくといえる。だから、手続き的決定とは、ある手続きの結末に当

事者に与えられる未来にむけての権利ないし法制度的な地位であるといえよう。

表16は、417件の少額請求事件に対していかなる手続的決定がなされたかを示している。それは、情報がえられた380件の事件について手続きを通じて与えられた手続き後の法的地位の分布を表しているわけである。

この表からは、その他の少額裁判所の活動と共通する特徴が見いだされる。それは、大多数の事件において原告が勝訴しているという特徴である。また相当数の事件で、取下または送達不能がおこっていることである。

当事者の観点からいうと、敗訴、取り下げないし送達不能は双方とも、当面の手続きを基礎としては請求の法的追求がこれ以上できない、ということの意味している。このうち、取り下げ (Dismissal without prejudice) は将来における同一の請求の提訴が法的には妨げられない、という点で敗訴と違いがある (訴状書式 (後掲 [付録3] 参照) に説明が印刷されている)。

送達不能事件はどのような特徴をもっているのだろうか。

まず、その全数は26件であり、決定区分が知られている事件の6.8%をしめている。当事者組合わせ類型によつての比率の差は小さい (個人対個人  $8/126=6.2\%$ 、個人対組織体  $7/88=7.9\%$ 、組織体対個人  $11/132=8.3\%$ ) が、個人原告にとっては個人被告より組織体被告が把握しにくく、組織体原告にとっては、それ以上に個人である取引相手を把握しにくい、という一定の方向性をみとることができるかもしれない。

また組織体どうしの事件では送達不能は1件もない。

表17は請求内容別の手続き的決定の分布状況を示している。この表によれば、請求の類型からみると、賃料請求事件に送達不能事件が比較的多い (決定区分が知られている全賃料請求事件45件中8件 (=18%))。これは賃借人の転居によるものであろうか。

取り下げは、全事件の12%、51件で起こっている。取り下げで終結する事件

の多くは、個人対個人の事件か、組織体対個人の事件かである(表18、表19)。取り下げがどのような理由で起こるのかについては、データがなく、明確なことはいえない。

当事者が法手続きを利用するのは、手続き経過中の諸効果(道義的確認や終結以前の支払など)を除けば、支払を請求するためのさらに強力な手段を利用できる地位をえるためであると考えられる。そのような地位は、和解ないし勝訴判決によって与えられる。

そこで、手続き的決定がなされたすべての事件数のなかにしめる和解と勝訴判決との合計の比率を知ることが、当事者や請求群が少額裁判所においていかなる取り扱いを受けているか、を知るために重要であるということになる。表20-1は、決定区分が知られた380件のなかで原告に請求の権利を与えた決定、つまり勝訴および(原告に権利を与えた)和解のしめる比率を当事者組合わせ類型、請求内容ごとに、各請求内容別事件の度数とともに示したものである。

権利を与えた決定の合計件数は233件であり、全事件の61%をしめている。その当事者別の比率は、個人原告対組織体被告および組織体当事者どうしの事件の約55%から組織体原告対個人被告事件の68%までの間にある。

個人が提起する請求のうちで、伝統的請求(SS~SO)はそうでないもの(IS~IO)に比べて、権利を与えられる可能性が大きいようである。これは、証拠の存在の可能性や事実の法的な明白性などの点での伝統的請求の優位をあらわすものであろう。例えば、貸金請求においては支払約束証書が証拠としては十分と考えられる。また商品やサービスの供給は、すでに一定の価格を定めて行われていることが多いから、請求を基礎づける事実関係は明白である。それらは、まさに、短時間で即座の事実認定をする少額請求裁判手続きに適する社会制度的構造をもつ事件なのである。

これに対して、商品の瑕疵に基づく消費者からの請求の法的不明白性はよく

指摘されているし、借主から貸主への請求についても同様である。

以上の区別のなかでやや例外的な傾向がみられるのは、貸主からの請求である。それは全体で51%の勝訴・和解比率しかしていないし、組織体原告対個人被告事件でも個人どうしの事件でも60%に達していない。しかし、このことは、貸貸人からの請求が取り下げないし送達不能におわる率が高い（個人の貸主の場合には35%、組織体貸主の場合には49%がいずれかのカテゴリーに属する。個人の貸主から組織体借主に対する請求は2件しかないが、そのうち1件が送達不能である。その他の請求類型では、個人どうしの商品・サービス消費事件ではそれは25%であり、個人原告対組織体被告の商品・サービス供給事件では24%、組織体原告対個人被告の貸金請求事件では23%である）ためである。

交通事故から生ずる事件では、（事件がない組織体どうしの類型を除いて）すべての当事者組合わせ類型で、原告に権利を与えられる率が高い。

### (3) 獲得額

前項(2)では、個人原告が提起する伝統的でない請求は、公式の裁判にせよ自主的な和解にせよ、権利を認められることが起こりにくい、という傾向に注意した。しかし、「権利を認められること」についてのより厳格な指標は、およそどんな程度においてであれ権利が認められるということではなく、請求額に対して与えられる相対的な確認の度合いであると考えることができる。そこで、つぎに、請求に対して、与えられた権利の「割合」を問題にしてみよう。

まず、敗訴事件もふくめて認容額が知られている事件について認容額階級別の事件数の分布をみると、表21と図2のようになる。4分の1以上の事件が0から100ドルまでの額を得ている（獲得額ゼロを図2に示す）にとどまることがわかる。

表22は勝訴・和解事件での獲得額が請求額の半分以上である事件数が勝訴・和解事件総数に対してしめる比率を、当事者組合わせ類型および請求内容別に

見たものである。その比率をそれぞれの当事者組合せ類型の全事件についてみるとおおむね80%あまりであるが、当事者や請求内容による変化のいくつかを見てとることができる。

賃主からの賃料請求は、比較的多数の事件からなる請求のなかでは、やや低い獲得率を示しているが、それは、少数の組織体原告対個人被告事件の著しく低い高獲得率事件比率と、個人原告対個人被告事件の通常程度(80%)の比率との混合的な効果である。前者は件数が4件であり、構造的な効果をあらわしているものかどうかは疑わしい。少なくとも、個人賃主にとっては、権利が認められる多くの場合には十分な額も伴っているということができよう。

個人原告から組織体被告に対する商品・サービス消費をめぐる請求は、権利が認められる場合でもその程度が低い(請求額の50%以上が獲得された事件はその64%にすぎない)

大部分の伝統的請求類型において、請求額の50%以上の認容額をしめす事件が7割から8割をしめているという点は、これらの事件が勝訴・和解におわる率の相対的な高さといまわって、少額裁判所が効果的な請求処理制度であるのは法的に伝統的な請求の領域においてである、というこれまでの推測を強化するものである。

伝統的請求においては、法的基準や証明の基準が定型化しているとも考えられる。伝統的請求の成功は、この定型性の直接的で単純な効果なのだろうか。

多くの制度化された手続き的決定において、個々の決定はその他の決定と無関係に行われているわけではない。例えば、多数の小規模の交通違反事件を公開法廷で裁く裁判所では、その日の最初の事件が引き続く事件の決定の手続き的決定および実体的な範例となる(Pollner、文献⑥)。またどんな決定者も、同種の事件への将来または過去の決定を念頭において、個々の決定をおこなう(Emerson、文献④)。従って、少額裁判所においてある同じカテゴリーに属する多くの事件が効果的に決定されているということ自体、そのカテゴリーに

属する新たな事件にとっての方向を定める、ということが期待できるだろう。そして多くの事件がもたらされるという事実からは、形式的で、画一的な決定の必要が生み出される。このように、その過程は、個々の事件への適用を通じて発達していき、多くの事件がそのカテゴリーに属するということによってさらに促進されるといえる。

こう考えると、決定の対象となる状況の単純性や定型的基準や「実務慣行」の存在は社会的決定の慣例化の原因ではなくその結果であるともいえることになる。この推測に事実即している点があるかどうかは、少額裁判における相互作用自体を観察することによってはじめてはっきりするであろう。

当事者組合わせ類型による、高獲得率事件の比率をみると、被告がだれであるかによるようにみえる差異が観察される。個人が被告である事件群では、高獲得率事件比率は80%以上となり、組織体が被告である場合の70~75%とやや異なっている。これは、組織体被告の法的技能の優越をあらわすのであろうか。

なお、裁判費用は敗訴被告に対して負担が命じられることができ、その額は11~20ドルの場合が最も多い(表23)。

## 6 少額請求事件の執行のパターン

少額請求裁判所の当事者は、判決で認められた自己の権利に対する支払いやその他の満足が行われたことを裁判所に通知するよう求められている(文献①、文献②)。組織体原告のなかには、この通知を勤勉に行っていることが事件記録上あきらかな者もあるけれども、当事者がそのような要請に従わないことも多いであろうということも、通知がなんの利益ももたらさない以上、予想される。そこで、権利のある原告、つまり勝訴または和解を得た原告であって権利の満足の通知をしていない者(273件の原告)に対して、訴状に記載されている電話番号に基づいて、電話による支払確認調査が行われた。

表24は、「権利あり」とされた原告に対する支払の有無と程度の確認の結果をあらわしている(なお、権利の満足の通知のあった者は全額支払ずみに分類した)。また、それらが417件の当初の請求の最終的な結果であることを考慮して、全体の事件についての百分率も示してある。不明の者を除いて計算すると、全額の支払を受けた者は、当初の請求者の31%あまりとなる。

表25は、全額支払ずみの事件のうち支払日が分かっているものについて、判決ないし和解の日からの日数を計算し、その分布を示したものである。60%の事件で、100日までの期間に支払が行われていることがわかる。調査によって判明した最長期間は601日である。

表26は、全額の支払がなされた事件と手続き的決定の区分が知られている事件との比率を百分率で表したものである。サンプルの数が少ないけれども、いくつかの推測を述べておこう。

まず、請求の法的な認容されやすさが低いにもかかわらず、われわれが伝統的でない劣位の者からの請求と呼んだ請求類型においては全額支払事件の比率が高い。

これに対して、個人当事者どうしの交通事故の事件では、原告が手続き的な

勝利は得やすいにもかかわらず、全額が支払われる事件の比率は低い。

賃料請求事件もまた、手続き勝利のえやすさに対して、執行が困難である。

商品・サービス供給者からの請求、貸金請求では、前者の個人どうしの事件を例外として、執行も手続き的勝利も比較的容易である。

また、個人原告の事件において、執行が困難であると、いうこともできる。

これらの観察は、法手続きの内部と法手続きの外部とでは、請求の最終的満足に対応する資源や障害の性質が異なるのかもしれない、という一般的推測を導く。法手続きの外部においては、請求が法的に伝統的なものであるかどうかによって変化する資源や障害はあまり大きな影響をもたないのかもしれない。それらの資源は、商品・サービス供給関係と賃貸借関係との間で不均等に分布しており、個人にも欠けていがちなものである。

そうすると、取引の大量性や慣行化の程度が前者の関係ではすでに高いということがその説明の手がかりになるかもしれない。商品やサービスの供給関係とそれを支える自生的な社会統制は、トラブルが発生する以前から、個別的であり、反復的であり、限定的であるといえよう。そしてそのような社会統制や社会関係では、トラブルに含まれる規範的意味は単純なものになるといえよう。それらの規範的・社会関係的特性が、少額裁判所へと事件をもちこむことによって、強化されるのであろう。

これまで検討してきたさまざまな請求が裁判所において受ける取り扱いの間の差異は表27にまとめられている。

## 7 結 論

本報告では、アメリカの大都市の少額請求裁判所における請求の取り扱いを手がかりとして、現代の都市における最下級の裁判所の活動を、それをとりまく社会制度、とりわけ、請求の両当事者の法一以前の社会関係の構造とともに理解しようとしてきた。分析の焦点は、この少額裁判所を包括的に理解しようとするよりも、少額裁判所の活動のさまざまな側面や局面について、社会関係の諸特性がそれぞれの局面に特有な効果をもっているのではないか、という一般的推測を具体的に展開することにおかれた。

本報告は、不十分なデータに基づくものであるが、〈少額請求裁判所がさまざまに異なった社会的性質をもつ、異質な諸請求の束である〉、ということ、ある程度しめしえたのではないかと考える。この結論は言い古された警告を思い起させる。おそらくどんな裁判所も単一の手続きの機械的なあるいは完全に自律的な実現として捉えられるべきではないであろう。しかし、いまやこの警告は、「機械的法学」に対する以上に「機械的社会学」に対して妥当する。社会生活に直結する最下級の裁判所においてそれはその他の裁判所よりも一層真実への導きとなる。それによれば裁判とは何よりも、社会のメンバーが日常的に行う〈要求〉や〈請求〉の制度の「法的な一部門」なのである。

図1 請求額別度数の累積百分率

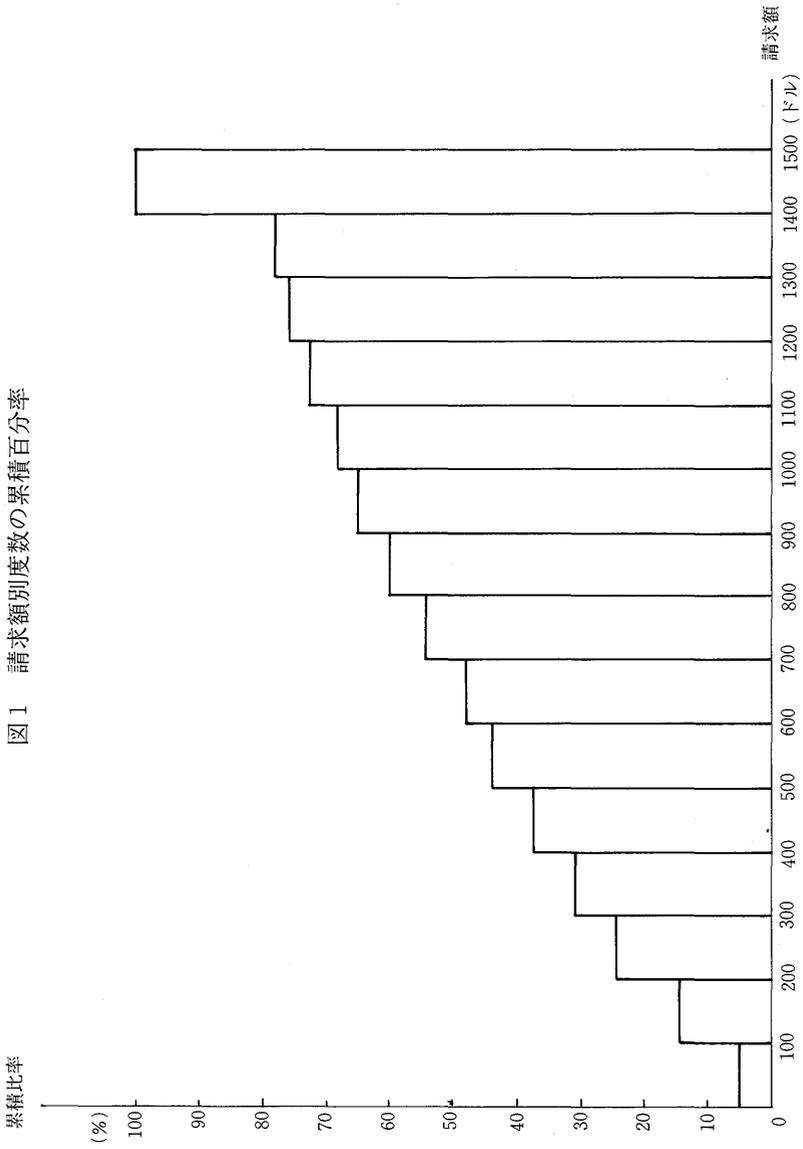


図2 認容額階級別の累積百分率

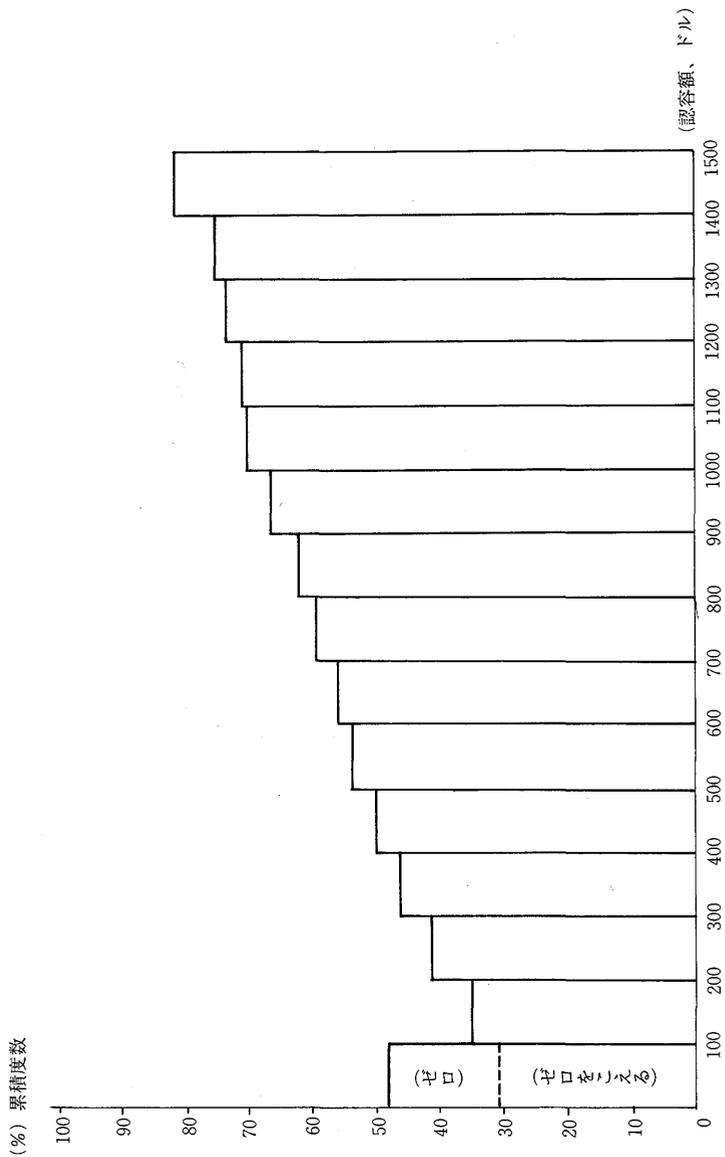


表1：サンプルにおける判決および支払期日

判決または 支払期日階級	判決日度数	支払日度数
82/1/31以前	20	1
～82/2/28	198	7
～82/3/31	74	18
～82/4/30	17	12
～82/5/31	9	9
～82/6/30	3	1
～82/7/31	3	5
～82/8/31	2	4
～82/9/30	2	4
～82/12/31	1	6
～83/6/30	2	8
～83/10/31	0	4
不明	86	338
Total	417	417

表 2：各変量の有効データ数，最大値，最小値，平均，標準偏差

	A. 有効データ数	B. データ最大値	C. データ最小値	D. データ平均	E. データ標準偏差
1. 当事者区分	417	—	—	—	—
2. 請求内容区分	383	—	—	—	—
3. 請求額	414	1500	10	783.51	499.80
4. 認容額	345	1526	0	717.43 <sub>(注1)</sub>	467.07
5. 獲得率 ( <sup>4</sup> / <sub>3</sub> )	208	100.00%	0.00%	86.08% <sub>(注)</sub>	23.73%
6. 認容費用額	232	58	0	15.60	11.22
7. 支払日数	78	601	0	126.65	141.01
8. 出頭状況	103	—	—	—	—
9. 支払態様	272	—	—	—	—
10. インタビュー	128	—	—	—	—

(注1) 平均は0のデータを除いて計算。なお、0を算入すると、4.の平均は482.44に、5.の平均は55.78%に下降する。

表 3 当事者区分とその役割 Cr = .201

原告\被告	個人	組織体	合計
個人	143	92	235
組織体	145	37	182
合計	288	129	417

表4：複数の事件に表れている当事者(仮名)，事件数，相手方内訳，事件番号(注)

## (1) 原告側

名 称	事件数	被告の区別と数	事件番号
A 広告会社	2	組織 1, 個人 1	110,166
B 金融会社	6	個人 6	163,164,99,101,100, 329
C 紙業会社	5	組織 3, 個人 2	128,344,127,304,105
D 金融会社	25	個人 25	264,284,285,149,156, 50,286,283,96,94,91, 157,231,234,233,230, 232,86,413,414,417, 180,181,62,362
E 配管工事会社	2	組織 1, 個人 1	79,80
F (個人)	3	個人 3	359,369,38
G 百貨店	3	個人 3	14,15,16
H 小切手金融会社	3	組織 3	251,252,253
I 従業員信用組合	5	個人 5	72,73,74,75,76
J 被雇用者信用組合	4	個人 4	43,44,45,360
K 賞品店	3	組織 1, 個人 2	185,358,291
L (個人)	2	個人 2	311,335
M レンタカー会社	5	個人 5	194,206,207,196,195
N 投資会社	9	個人 9	224,312,313,210,209, 340,341,342,246
O (個人)	2	組織 2	198,197
P 銀行	6	個人 6	365,376,395,364,382, 396
Q 鋼板会社	2	個人 2	269,301
R 会社 (業種不明)	2	個人 2	226,229
S 金融会社	2	個人 2	9,10
T 電装会社	2	組織 2	377,378
U 配管会社	3	個人 3	332,334,326
V (個人)	2	個人 2	150,268
W 照明器具販売会社	5	組織 4, 個人 1	211,212,213,214,248
X 会社 (業種不明)	2	組織 1, 個人 1	186,187
Y リース会社	3	個人 3	236,237,238

名 称	事件数	被告の区別と数	事件番号
Z百貨店	6	個人6	13,17,18,95,266,333
A A 電話会社	14	個人14	408,403,411,399,410, 401,412,407,400,409, 402,363,413,414
B B 宝石店	3	個人3	123,124,125
C C クラブ	4	個人4	103,118,351,178
D D 弁護士事務所	2	組織1,個人1	131,134
E E 職業紹介会社	2	組織2	87,88
F F (個人)	2	個人2	385,386
G G (個人)	2	組織2	381,406
H H (個人)	2	個人2	350,357
I I 百貨店	6	個人6	278,338,275,276,277, 361
J J (個人)	2	組織1,個人1	42,46
K K 金融会社	2	個人2	219,257
L L 自動車販売会社	2	個人2	64,169
M M (個人)	2	組織(市)1,個人1	189,380

## (2) 被告側

名 称	事件数	原告の区別と数	事件番号
サンフランシスコ市および郡(学校区などの独立団体を含む)	10	個人7	189,300,11,6,7,28, 170,304,265,239
N N (個人)	2	組織(N投資会社)2	246,340
O O 銀行	3	個人3	41,51,354,189
P P (個人)	2	組織(B金融会社)2	164,329
Q Q (個人)	3	個人3	20,21,22
R R (個人)	2	個人2	121,122
S S タクシー会社	2	個人2	83,321

(注) 同一の記号("A"、"QQ"など)は同一の当事者をあらわす。事件番号は後掲【付録1】事件一覧表で付されている事件番号をあらわす。

表5 性別・役割別当事者数 (単位:人)

役割\性別	女性	男性	不明	合計
原告	78	163	2	243
被告	105	195	6	306
合計	183	358	8	549

表6 : 当事者類型(組織、個人男性、個人女性、個人男女)の組合せ度数と比率(注)

原告	被告	*O	*IM	*IF	*IFM	合計
O*		37	89	44	8	178
(%)		21%	50%	25%	4%	100%
IM*		64	61	23	7	155
(%)		41%	39%	15%	5%	100%
IF*		23	26	19	2	70
(%)		33%	37%	27%	3%	100%
IFM*		5	1	1	1	8
(%)		63%	13%	13%	13%	100%
合計		129	177	87	18	411
(%)		31%	43%	21%	4%	100%

(注) 記号の説明:

O*	組織体原告事件	*O	組織体被告事件
IM*	個人男性原告事件	*IM	個人男性被告事件
IF*	個人女性原告事件	*IF	個人女性被告事件
IFM*	男女共同原告事件	*IFM	男女共同被告事件

表7：請求額階級別度数及び累積度数及び比率

A. 請求額階級(\$)	B. 度 数	C.(B/417) 比率(%)	D. 累積度数	E. 累積百分率(%)
1~100	22	5.28	22	5.28
101~200	38	9.11	60	14.39
201~300	41	9.83	101	24.22
301~400	28	6.71	129	30.94
401~500	28	6.71	157	37.65
501~600	24	5.76	181	43.41
601~700	18	4.32	199	47.72
701~800	28	6.71	227	54.44
801~900	22	5.28	249	59.71
901~1,000	21	5.04	270	64.75
1,001~1,100	14	3.36	284	68.11
1,101~1,200	16	3.84	300	71.94
1,201~1,300	13	3.12	313	75.06
1,301~1,400	10	2.40	323	77.46
1,401~1,500	91	21.82	414	99.28
Unknown	3	0.72	417	100.00
Total	417	100.00	417	100.00

表8：請求内容区分別度数及び比率

A. 請求内容区別	B. 度数	(B/417) C.比率A (%)	(B/SUB TOTAL) D.比率B (%)
I. 伝統的請求			
Shop/Service	116	27.82	45.85
Loan	70	16.79	27.67
Rent	53	12.71	20.95
Other	14	3.36	5.53
SUB TOTAL	253	60.67	100.00
II. 革新的請求			
Shop/Service	60	14.39	65.93
Loan	3	0.72	3.30
Rent	11	2.64	12.09
Other	17	4.08	18.68
SUB TOTAL	91	21.82	100.00
III. 交通事故			
Car Accident	56	13.43	—
IV. 不明			
Not Specified	13	3.12	76.47
Unknown	4	0.96	23.53
SUB TOTAL	17	4.08	100.00
TOTAL	417	100.00	—

表9：当事者区分(個人/組織、性、役割)・請求額階級別度数分布と比率(%)

当事者区分別(個人/	0-300	301-600	601-900	901-1200	1201-1500	TOTAL
O*O	10 2.45%	9 2.21%	6 1.47%	3 0.74%	9 2.21%	37 9.07%
O*IM	25 6.13%	14 3.43%	16 3.92%	14 3.43%	20 4.90%	89 21.81%
O*IF	20 4.90%	6 1.47%	6 1.47%	6 1.47%	6 1.47%	44 10.78%
O*IFM	0 0.00%	4 0.98%	0 0.00%	2 0.49%	2 0.49%	8 1.96%
O*TOTAL	55 13.48%	33 8.09%	28 6.86%	25 6.13%	37 9.07%	178 43.63%
IM*O	12 2.94%	9 2.21%	13 3.19%	8 1.96%	22 5.39%	64 15.69%
IM*IM	12 2.94%	18 4.41%	9 2.21%	4 0.98%	18 4.41%	61 14.95%
IM*IF	3 0.74%	5 1.23%	3 0.74%	3 0.74%	8 1.96%	22 5.39%
IM*IFM	1 0.25%	2 0.49%	0 0.00%	1 0.25%	3 0.74%	7 1.72%
IM*TOTAL	28 6.86%	34 8.33%	25 6.13%	16 3.92%	51 12.50%	154 37.75%
IF*O	3 0.74%	2 0.49%	7 1.72%	1 0.25%	9 2.21%	22 5.39%
IF*IM	5 1.23%	5 1.23%	6 1.47%	4 0.98%	6 1.47%	26 6.37%
IF*IF	6 1.47%	4 0.98%	1 0.25%	4 0.98%	4 0.98%	19 4.66%
IF*IFM	1 0.25%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.25%	2 0.49%
IF*TOTAL	15 3.68%	11 2.70%	14 3.43%	9 2.21%	20 4.90%	69 16.91%
IFM*O	2 0.49%	1 0.25%	0 0.00%	0 0.00%	2 0.49%	5 1.23%
IFM*IM	11 0.25%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.25%
IFM*IF	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.25%	1 0.25%
IFM*IFM	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
IFM*TOTAL	3 0.74%	1 0.25%	0 0.00%	0 0.00%	3 0.74%	7 1.72%
TOTAL	101 24.75%	79 19.36%	67 16.42%	50 12.25%	111 27.21%	408 100.00%

注：請求額不明の3件は表から除かれている。それらの当事者区分はそれぞれIM\*IF、IF\*O、IFM\*IFMである。

表10：当事者額型別、請求額、請求内容別事件数比率 (%) と実数 (件)

当事者 額型別	請求額 階級	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	1	25	17	18	33	40	—	44	0	7	50	—	21
	2	13	17	45	17	10	—	11	33	17	33	—	24
	3	25	42	11	0	20	—	0	33	7	0	—	13
	4	6	0	8	17	10	—	0	0	22	17	—	11
	5	31	25	18	33	20	—	44	33	46	0	—	30
% 計		100	100	100	100	100	—	100	100	100	100	—	100
		16	12	38	6	10	0	9	3	41	6	0	141
IO	1	25	—	0	40	23	33	0	15	0	0	0	19
	2	25	—	50	20	12	0	50	0	18	0	0	13
	3	25	—	0	20	14	0	50	46	27	0	100	22
	4	13	—	0	0	14	0	0	0	9	33	0	10
	5	13	—	50	20	37	67	0	38	45	67	0	36
% 計		100	—	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		8	0	2	5	43	3	2	13	11	3	1	91
OI(N)	1	37	15	77	100	—	—	—	—	0	0	100	31
	2	19	15	15	0	—	—	—	—	50	0	0	17
	3	13	19	0	0	—	—	—	—	0	100	0	16
	4	16	22	0	0	—	—	—	—	0	0	0	16
	5	15	30	8	0	—	—	—	—	50	0	0	20
% 計		100	100	100	100	—	—	—	—	100	100	100	100
		68	54	13	1	0	0	0	0	4	4	1	145
OO	1	29	50	—	0	17	—	—	0	—	—	—	27
	2	21	0	—	50	50	—	—	0	—	—	—	24
	3	21	25	—	0	0	—	—	0	—	—	—	16
	4	8	0	—	0	0	—	—	100	—	—	—	8
	5	21	25	—	50	33	—	—	0	—	—	—	24
% 計		100	100	—	100	100	—	—	100	—	—	—	100
		24	4	0	2	6	0	0	1	0	0	0	37
ALL	1	33	17	32	36	25	33	36	12	5	23	50	24
	2	19	14	38	21	15	0	18	6	20	15	0	19
	3	17	23	8	7	14	0	9	41	11	31	50	16
	4	13	17	6	7	12	0	0	6	18	15	0	12
	5	18	29	17	29	34	67	36	35	46	15	0	28
(% ) 計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		116	70	53	14	59	3	11	17	56	13	2	414

表10-2：個人男性対個人事件（実数）

当事者組合せ類型	請求額階級	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	実数
IM*1	1	1	0	6	2	1	0	1	0	3	2	0	16
	2	1	2	15	0	1	0	0	1	5	0	0	25
	3	2	4	2	0	1	0	0	0	3	0	0	12
	4	1	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	8
	5	3	2	5	1	1	0	3	1	13	0	0	29
計		8	8	29	3	4	0	4	2	30	2	0	90

表10-2-1：個人男性対個人事件（%）

当事者組合せ類型	請求額階級	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	実数
IM*1	1	13	0	21	67	25	—	25	0	10	100	—	18
	2	13	25	52	0	25	—	0	50	17	0	—	28
	3	25	50	7	0	25	—	0	0	10	0	—	13
	4	13	0	3	0	0	—	0	0	20	0	—	9
	5	38	25	17	33	25	—	75	50	43	0	—	32
		100	100	100	100	100	—	100	100	100	100	—	100
		8	8	29	3	4	0	4	2	30	2	0	90

表10-3：個人女性対個人事件（実数）

当事者組合せ類型	請求額階級	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	実数
IF*1	1	3	2	0	0	3	0	3	0	0	1	0	12
	2	1	0	2	1	0	0	1	0	2	2	0	9
	3	2	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	7
	4	0	0	2	1	1	0	0	0	3	1	0	8
	5	1	1	2	1	0	0	1	0	5	0	0	11
計		7	4	8	3	5	0	5	1	10	4	0	47

表10-3-1：個人女性対個人事件（%）

当事者組合せ類型	請求額階級	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	実数
IF*1	1	43	50	0	0	60	—	60	0	0	25	—	26
	2	14	0	25	33	0	—	20	0	20	50	—	19
	3	29	25	25	0	20	—	0	100	0	0	—	15
	4	0	0	25	33	20	—	0	0	30	25	—	17
	5	14	25	25	33	0	—	20	0	50	0	—	23
		100	100	100	100	100	—	100	100	100	100	—	100
		7	4	8	3	5	0	5	1	10	4	0	47

表10-4：請求額別、請求内容別全事件数（実数）

当事者組合せ類型	請求額階級	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	実数
ALL	1	38	12	17	5	15	1	4	2	3	3	1	101
	2	22	10	20	3	9	0	2	1	11	2	0	80
	3	20	16	4	1	8	0	1	7	6	4	1	68
	4	15	12	3	1	7	0	0	1	10	2	0	51
	5	21	20	9	4	20	2	4	6	26	2	0	114
		116	70	53	14	59	3	11	17	56	13	2	414

表11：出頭状況

コード	A. 状況	B. 度数	C. (B/417) 百分率(全体)	D. 百分率(1~4)
1	双方出頭	52	12.47	50.49
2	原告のみ	47	11.27	45.63
3	双方出頭+ 原告のみ出頭	2	0.48	1.94
4	被告被告み	2	0.48	1.94
	Sub total	(103)		(100.00)
0	不明	314	75.30	
	Total	417	100.00	

表12：当事者組合せ別出頭状況別度数と比率

	双方出頭	原告のみ出頭	計
II	25 65.8%	13 34.2%	38 100.0%
IO	14 70.0%	6 30.0%	20 100.0%
OI	9 25.7%	26 74.3%	35 100.0%
OO	4 66.7%	2 33.3%	6 100.0%
計	52	47	99

表13：請求内容別出頭状況（実数）—全事件—

ALL	SS	SL	SR	SO	IL	IS	IR	IO	CA	NS	UK	計
1	12	5	9	3	0	10	4	0	7	1	1	52
2	15	12	8	2	0	5	0	0	3	2	0	47
3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
4	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
T.	27	18	18	5	0	16	4	0	11	3	1	103

表13-1：請求内容別出頭状況（%）—全事件—

ALL	SS	SL	SR	SO	IL	IS	IR	IO	CA	NS	UK	計
1	44	28	50	60	—	63	100	—	64	33	100	50
2	56	67	44	40	—	31	0	—	27	67	0	46
3	0	6	0	0	—	0	0	—	9	0	0	2
4	0	0	6	0	—	6	0	—	0	0	0	2
N =	100	100	100	100	—	100	100	—	100	100	100	100
	27	18	18	5	0	16	4	0	11	3	1	103

## \*記号の説明

- 1：双方出頭
- 2：原告のみ出頭
- 3：複数回期日で双方出頭および原告のみ出頭
- 4：被告のみ出頭

表14：請求額階級別出頭状況既知事件数（実数）—全事件—

当事者 組合せ	請求額階級 請求内容	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
ALL	1	10	2	4	2	6	0	1	0	0	1	0	26
	2	3	3	7	1	4	0	0	0	6	0	0	24
	3	6	5	2	0	1	0	0	0	1	0	1	16
	4	4	3	2	0	2	0	0	0	2	1	0	14
	5	4	5	3	2	3	0	3	0	2	1	0	23
T.		27	18	18	5	16	0	4	0	11	3	1	103

表14-2: 請求内容、請求額別出頭状況既知事件数 (%) — 全事件 —

当事者 組合せ	請求額階級 請求内容	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
ALL	1	37	11	22	40	38	—	25	—	0	33	0	25
	2	11	17	39	20	25	—	0	—	55	0	0	23
	3	22	28	11	0	6	—	0	—	9	0	100	16
	4	15	17	11	0	13	—	0	—	18	33	0	14
	5	15	28	17	40	19	—	75	—	18	33	0	22
	計	100	100	100	100	100	—	100	—	100	100	100	100
	実数	27	18	18	5	16	0	4	0	11	3	1	103

表14-3: 当事者類型、請求額、請求内容別出頭状況既知事件数 (%)

当事者 組合せ	請求額階級 請求内容	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	1	25	0	20	100	33	—	25	—	0	50	—	21
	2	0	0	33	0	33	—	0	—	43	0	—	23
	3	50	100	13	0	33	—	0	—	14	0	—	23
	4	0	0	13	0	0	—	0	—	14	50	—	10
	5	25	0	20	0	0	—	75	—	29	0	—	23
	計	100	100	100	100	100	—	100	—	100	100	—	100
実数		4	3	15	1	3	0	4	0	7	2	0	39
IO	1	25	—	—	33	50	—	—	—	0	0	0	33
	2	0	—	—	33	10	—	—	—	50	0	0	14
	3	25	—	—	0	0	—	—	—	0	0	100	10
	4	25	—	—	0	20	—	—	—	50	0	0	19
	5	25	—	—	33	20	—	—	—	0	100	0	24
	計	100	—	—	100	100	—	—	—	100	100	100	100
実数		4	0	0	3	10	0	0	0	2	1	1	21
OI	1	47	13	33	—	—	—	—	—	0	—	—	30
	2	18	20	67	—	—	—	—	—	100	—	—	27
	3	12	13	0	—	—	—	—	—	0	—	—	11
	4	18	20	0	—	—	—	—	—	0	—	—	16
	5	6	33	0	—	—	—	—	—	0	—	—	16
	計	100	100	100	—	—	—	—	—	100	—	—	100
実数		17	15	3	0	0	0	0	0	2	0	0	37
OO	1	0	—	—	0	0	—	—	—	—	—	—	0
	2	0	—	—	0	67	—	—	—	—	—	—	33
	3	50	—	—	0	0	—	—	—	—	—	—	17
	4	0	—	—	0	0	—	—	—	—	—	—	0
	5	50	—	—	100	33	—	—	—	—	—	—	50
	計	100	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100
実数		2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	6

表15：当事者類型、出頭状況、主要終結区分別事件数(%)

類型	出頭 状況	原告 (P) 勝訴 (W)	被告 (D) 勝訴 (W)	却下 (C) 取下 (D)	送達 (N) 不能 (S)	計	計
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
II	不明	58	15	18	9	100	88
	双方	55	36	9	0	100	22
	原告	92	0	8	0	100	13
	組合	—	—	—	—	—	0
	被告	0	100	0	0	100	1
計		60	18	15	6	100	124
IO	不明	47	29	12	12	100	66
	双方	71	29	0	0	100	14
	原告	100	0	0	0	100	6
	組合	—	—	—	—	—	0
	被告	0	100	0	0	100	1
計		54	28	9	9	100	87
OI	不明	64	6	18	13	100	88
	双方	67	11	22	0	100	9
	原告	88	4	8	0	100	26
	組合	100	0	0	0	100	1
	被告	—	—	—	—	—	0
計		69	6	16	9	100	124
OO	不明	62	19	19	0	100	21
	双方	50	50	0	0	100	4
	原告	100	0	0	0	100	2
	組合	—	—	—	—	—	0
	被告	—	—	—	—	—	0
計		63	22	15	0	100	27

表16：終結区分別事件数と比率

表：終結区分別度数

終結区分	コード	度数	比率
情報なし	UK	34	8.15%
原告勝訴	PW	225	53.96%
被告勝訴	DW	59	14.15%
双方勝訴	BW	6	1.44%
双方敗訴	NW	2	0.48%
和解	SE	6	1.44%
移送	TR	5	1.20%
決定なし	NJ	2	0.48%
取下げ	CD	51	12.23%
送達不能	NS	27	6.47%
合計		417	100.00%

表17：請求内容別終結区分

区分 組合せ	PW	DW	BW	NW	SE	TR	NJ	CD	NS	TOTAL
SS	65	13	1	0	4	1	1	14	7	106
SL	43	3	3	0	1	0	1	11	2	64
SR	23	4	0	0	1	0	0	9	8	45
SO	9	3	0	0	0	0	0	2	0	14
小計 (%)	140 61.1	23 10.0	4 1.7	0 0.0	6 2.6	1 0.4	2 0.9	36 15.7	17 7.4	229 100.0
IS	27	17	0	1	0	1	0	6	4	56
IL	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
IR	4	6	0	0	0	0	0	0	0	10
IO	6	5	0	0	0	1	0	3	1	16
小計 (%)	39 45.9	29 34.1	0 0.0	1 1.2	0 0.0	2 2.4	0 0.0	9 10.6	5 5.9	85 100.0
CA (%)	35 66.0	6 11.3	2 3.8	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 11.3	3 5.7	53 100.0
NS	10	1	0	0	0	0	0	0	2	13
UK	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
小計 (%)	11 68.8	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	2 12.5	16 100.0
TOTAL (%)	225 58.7	59 15.4	6 1.6	2 0.5	6 1.6	5 1.3	2 0.5	51 13.3	27 7.0	383 100.0

表18：当事者類型、請求内容別取下げ事件数

	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	0	2	8	1	2	0	0	0	6	0	0	19
IO	2	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	8
OI	10	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	20
OO	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
計	14	11	9	2	6	0	0	3	6	0	0	51

表18-2：当事者類型、請求内容別取下げ事件(%)

	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	0	18	89	50	33	—	—	0	100	—	—	37
IO	14	0	0	0	50	—	—	100	0	—	—	16
OI	71	82	11	0	0	—	—	0	0	—	—	39
OO	14	0	0	50	17	—	—	0	0	—	—	8
計	100	100	100	100	100	—	—	100	100	—	—	100
ALL	106	64	45	14	55	3	10	16	53	13	1	380
CD実数	14	11	9	2	6	0	0	3	6	0	0	51
% (CD)	13	17	20	14	11	0	0	19	11	0	0	14

表19：当事者類型、請求内容別送達不能事件

NS	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	1	0	4	0	0	0	0	0	2	1	0	8
IO	0	0	1	0	3	0	0	1	1	1	0	7
OI	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	11
OO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	2	8	0	3	0	0	1	3	2	0	26

表19-2: 当事者類型、請求内容別送達不能事件(%)

	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	14	0	50	—	0	—	—	0	67	50	—	31
IO	0	0	13	—	100	—	—	100	33	50	—	27
OI	86	100	38	—	0	—	—	0	0	0	—	42
OO	0	0	0	—	0	—	—	0	0	0	—	0
	100	100	100	—	100	—	—	100	100	100	—	100
ALL	106	64	45	14	55	3	10	16	53	13	1	380
NS 実数	7	2	8	0	3	0	0	1	3	2	0	26
NS %	7	3	18	0	5	0	0	6	6	15	0	7

表20: 当事者類型、請求内容別、勝訴・和解比率(%)と実数、決定区分既知事件数

計		SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	T.
II	%	50	67	56	67	50	—	38	50	69	83	—	60.5
	実数 78	14	12	34	6	8	0	8	2	39	6	0	129
IO	%	63	—	0	60	54	67	50	31	80	67	100	54.5
	実数 48	8	0	2	5	41	3	2	13	10	3	1	88
OI	%	65	75	44	100	—	—	—	—	75	75	—	68.2
	実数 90	66	48	9	1	0	0	0	0	4	4	0	132
OO	%	61	50	—	50	33	—	—	100	—	—	—	54.8
	実数 17	18	4	0	2	6	0	0	1	0	0	0	31
ALL	%	62	72	51	64	51	67	40	38	72	77	100	61.3
	実数 233	106	64	45	14	55	3	10	16	53	13	1	380

表20-2：原告勝訴、和解事件分布(%、実数)

当事者 類型別	請求額階級\ 請求内容区分	SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	1	14	13	11	50	50	—	33	0	4	40	—	15
	2	14	13	42	0	25	—	0	0	19	40	—	23
	3	14	50	21	0	25	—	0	0	11	0	—	17
	4	14	0	5	0	0	—	0	0	19	20	—	10
	5	43	25	21	50	0	—	67	100	48	0	—	35
計	%	100	100	100	100	100	—	100	100	100	100	—	100
	実数	7	8	19	4	4	0	3	1	27	5	0	78
IO	1	20	—	—	33	23	0	0	25	0	0	0	17
	2	20	—	—	33	9	0	100	0	25	0	0	15
	3	20	—	—	0	14	0	0	50	25	0	100	19
	4	20	—	—	0	18	0	0	0	13	0	0	13
	5	20	—	—	33	36	100	0	25	38	100	0	38
計	%	100	—	—	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	実数	5	0	0	3	22	2	1	4	8	2	1	48
OI	1	33	14	50	100	—	—	—	—	0	0	—	24
	2	28	8	50	0	—	—	—	—	33	0	—	20
	3	9	17	0	0	—	—	—	—	0	100	—	14
	4	21	25	0	0	—	—	—	—	0	0	—	20
	5	9	36	0	0	—	—	—	—	67	0	—	21
計	%	100	100	100	100	—	—	—	—	100	100	—	100
	実数	43	36	4	1	0	0	0	0	3	3	0	90
OO	1	9	50	—	0	50	—	—	0	—	—	—	18
	2	18	0	—	0	50	—	—	0	—	—	—	18
	3	18	0	—	0	0	—	—	0	—	—	—	12
	4	18	0	—	0	0	—	—	100	—	—	—	18
	5	36	50	—	100	0	—	—	0	—	—	—	35
計	%	100	100	—	100	100	—	—	100	—	—	—	100
	実数	11	2	0	1	2	0	0	1	0	0	0	17
ALL	1	26	15	17	44	29	0	25	17	3	20	0	19
	2	24	9	43	11	14	0	25	0	21	20	0	20
	3	12	22	17	0	14	0	0	33	13	30	100	16
	4	20	20	4	0	14	0	0	17	16	10	0	15
	5	18	35	17	44	29	100	50	33	47	20	0	30
計	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	実数	66	46	23	9	28	2	4	6	38	10	1	233

表21 認容額階級別度数及び累積度数及びその比率

A 認容額階級(\$)	B 度 数	C (B/417) 百分率(%)	D 累積度数	E 累積百分率(%)
0~100	128	30.70	128	30.70
101~200	20	4.80	148	35.49
201~300	26	6.24	174	41.73
301~400	19	4.56	193	46.28
401~500	15	3.60	208	49.88
501~600	15	3.60	223	53.48
601~700	11	2.64	234	56.12
701~800	13	3.12	247	59.23
801~900	13	3.12	260	62.35
901~1000	16	3.84	276	66.19
1001~1100	16	3.84	292	70.02
1101~1200	5	1.20	297	71.22
1201~1300	9	2.16	306	73.38
1301~1400	10	2.40	316	75.78
1401~1500	28	6.71	344	82.49
1501~	1	0.24	345	82.73
unknown	72	17.27	417	100.00
Total	417	100.00	417	100.00

表21-2 認容額の請求額に対する比率階級別度数  
累積度数、その百分率

A 比率階級(%)	B 度数	C (B/417) 百分率(%)	D 累積度数	E 累積百分率(%)
0	113	27.10	113	27.10
1~10	2	0.48	115	27.58
11~20	6	1.44	121	29.02
21~30	4	0.96	125	29.98
31~40	3	0.72	128	30.70
41~50	7	1.68	135	32.37
51~60	11	2.64	146	35.01
61~70	11	2.64	157	37.65
71~80	12	2.88	169	40.53
81~90	5	1.20	174	41.73
91~100	147	35.25	321	76.98
不明	96	23.02	417	100.00
Total	417	100.00	417	100.00

表22 勝訴・和解事件中の認容額が50%以上の事件の比率(%)と  
母数(各勝訴・和解事件数) N.

		SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	%	100	100	84	75	100	-	66	0	89	40	-	85
	N.	7	8	19	4	4	0	3	1	27	5	0	78
IO	%	80	-	-	66	64	50	0	100	100	100	100	75
	N.	5	0	0	3	22	2	1	4	8	2	1	48
OI	%	81	86	25	100	-	-	-	-	100	100	-	82
	N.	43	36	4	1	0	0	0	0	3	3	0	90
OO	%	73	0	-	100	100	-	-	100	-	-	-	71
	N.	11	2	0	1	2	0	0	1	0	0	0	17
ALL	%	82	85	74	78	71	50	50	83	92	70	100	81
	N.	66	46	23	9	28	2	4	6	38	10	1	233

表23 認容費用額階級別度数分布

費用額階級	度数
0	154
1~10	45
11~20	79
21~30	47
31~40	16
41~50	3
51~60	2
no record	71
Total	417
max.	\$58.0
min.	\$ 6.0
avr.	\$19.1
s. d.	\$ 9.4

注：最大値、最小値、平均、標準偏差は費用額0および不明のケースを除いて計算。

表24 支払態様別度数と百分率

A. コード	B. 原告の 権利	C. 支払の 態様	D. 度数	E. (D/417) 百分率	E. (D/417) 百分率
1	I. 不明		145	34.77	—
2	II. 権利あり	全額支払済み	87	20.86	68.0
3		一部支払済み	13	3.12	10.2
4		未払	28	6.71	21.9
			(128)		(100.1)
5	III. 権利なし /未確定	不送達	27	6.47	—
6		却下	51	12.23	—
7		原告敗訴	61	14.63	—
8		移送	5	1.20	—
		Total	417	100.00	—

表25 判決後支払までの日数

A. 所要日数 階級	B. 度数	C. 百分率(%) (B/417)	D. (%) (B/78)	E. 累積百分率 ( $\Sigma$ D)(%)
0	8	1.92	10.26	10.26
1~50	28	6.71	35.90	46.15
51~100	12	2.88	15.38	61.54
101~150	4	0.96	5.13	66.67
151~200	8	1.92	10.26	76.92
201~250	2	0.48	2.56	79.49
251~300	7	1.68	8.97	88.46
301~350	3	0.72	3.85	92.31
351~400	1	0.24	1.28	93.59
401~450	2	0.48	2.56	96.15
451~500	0	0.00	0.00	96.15
501~	3	0.72	3.85	100.00
(sub total)	(78)		(100.00)	
unknown	339	81.29		
Total	417	100.00		
max.	601日			
avg.	126.7			
s. d.	141.0			

表26 支払状況が知られた事件のなかにしめる全額支払済み事件数の比率 (%) と母数 (各支払状況既知事件数) N.

		SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	計
II	%	33	100	40	33	100	—	100	50	53	0	—	51
	N.	3	2	10	3	1	0	3	2	17	2	0	43
IO	%	67	—	—	100	80	100	100	50	100	100	—	84
	N.	3	0	0	2	10	1	1	2	5	1	0	25
OI	%	68	83	50	100	—	—	—	—	100	100	—	74
	N.	25	12	4	1	0	0	0	0	2	2	0	46
OO	%	63	100	—	0	100	—	—	100	—	—	—	71
	N.	8	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	14
ALL	%	64	88	43	57	83	100	100	60	67	60	—	68
	N.	39	17	14	7	12	1	4	5	24	5	0	128

表27-1~5 当事者、請求内容別事件処理流れ

記号の説明：

UTTAE：請求金額が判明している全請求事件数

SHUTTOALL：出頭状況が判明している全請求事件数

SOUHOU：双方出頭事件数

SHUKETUALL：手続き的決定区分が判明している請求事件数

KENRI：和解または原告勝訴判決事件数 (原告に権利が与えられた全請求事件数)

HANKETU：原告勝訴判決事件数

NINYOGAKUALL：認容金額が判明している全請求事件数

50%+ KAKUTOKU：請求金額の50%以上の権利が獲得された事件数

SIHARAIJOKYOALL：支払の有無または程度が判明している全請求事件数

ZENGAKU：全額の支払がなされた事件数

NISSUALL：支払までの日数が判明している全請求事件数

IN100DAYS：100日以内に支払が行われた全請求事件数

SOKUJITU：即日に支払が行われた全請求事件数—全当事者組合わせ事件についてのみ計算

SHUTTOALL/：請求金額判明全請求事件にしめる出頭状況判明事件の比率 (%)

SOUHOU/：出頭状況判明事件にしめる双方出頭事件の比率 (%)

SHUKETUALL///：請求金額判明全請求事件にしめる手続き的決定区分判明事件の比率（％）

KENRI/：手続き的決定区分判明事件にしめる和解または原告勝訴事件の比率（％）

HANKETU/：和解または原告勝訴事件にしめる原告勝訴判決事件の比率（％）

50% + KAKUTOKU/：認容金額判明事件にしめる請求金額の50%以上が獲得された事件の比率（％）

ZENGAKU/：支払有無または程度が判明している事件にしめる全額支払済み事件の比率（％）

IN100DAYS/：支払までの日数が判明している事件にしめる100日以内に支払が行われた事件の比率（％）

SOKUJITU//：支払までの日数が判明している事件にしめる即日支払い事件の比率（％）——全当事者組合わせについてのみ計算

表27-1：当事者、請求内容別事件処理流れ（全当事者組合せ類型）

		SS	SL	SR	SO	IS	IL	IR	IO	CA	NS	UK	T.
ALL	UTTAE	116	70	53	14	59	3	11	17	56	13	2	414
	SHUTTOALL	27	18	18	5	16	0	4	0	11	3	1	103
	SOUHOU	12	5	9	3	10	0	4	0	7	1	1	52
	SHUKETUALL	106	64	45	14	55	3	10	16	53	13	1	380
	KENRI	66	46	23	9	28	2	4	6	38	10	1	233
	HANKETU	65	43	23	9	27	2	4	6	35	10	1	225
	NINYOGAKUALL	85	55	31	14	50	3	10	15	48	9	1	321
	50% + KAKUTOKU	54	39	17	7	20	1	2	5	35	7	1	188
	SIHARAJOKYOALL	39	17	14	7	12	1	4	5	24	5	0	128
	ZENGAKU	25	15	6	4	10	1	4	3	16	3	0	87
	NISSUALL	25	15	7	2	7	1	4	1	13	3	0	78
	IN100DAYS	11	8	4	1	7	1	4	1	9	2	0	48
	SOKUJITU	3	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8
	(%)	UTTAE	23	26	34	36	27	0	36	0	20	23	50
	SHUTTOALL/ SOUHOU/	44	28	50	60	63	—	100	—	64	33	100	50
	SHUKETUALL///	91	91	85	100	93	100	91	94	95	100	50	92
	KENRI/ HANKETU//	62	72	51	64	51	67	40	38	72	77	100	61
	NINYOGAKUALL	61	67	51	64	49	67	40	38	66	77	100	59
	50% + KAKUTOKU/ SIHARAJOKYOALL	64	71	55	50	40	33	20	33	73	78	100	59
	ZENGAKU/ NISSUALL	64	88	43	57	83	100	100	60	67	60	—	68
	IN100DAYS/ SOKUJITU//	44	53	57	50	100	100	100	100	69	67	—	62
		12	20	0	0	14	0	25	0	0	0	—	10





## 付録1 事件一覧表

調査者 番号	事件 番号	原告 被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額 (%)	認容された費用額 請求金額 (%)
1	1	I I	1500	1035.54	34	1069.54	69.04%	2.27%
1	2	I O	1104.85	250	9	259	22.63%	0.81%
1	3	O I	100	100	16	116	100.00%	16.00%
1	4	I O	1000	522	13	535	52.20%	1.30%
1	5	I I	863	847.36	26	873.36	98.19%	3.01%
1	6	I O	800	530	6	536	66.25%	0.75%
1	7	I O	1500	1200	6	1206	80.00%	0.40%
1	8	I O	1500	1380	6	1386	92.00%	0.40%
1	9	O I	735.36	626.72	18	644.72	85.23%	2.45%
1	10	O I	716.55	716.55	23	739.55	100.00%	3.21%
1	11	I O	900	450	6	456	50.00%	0.67%
1	12	O I	1359.99	1059.99	6	1065.99	77.94%	0.44%
1	13	O I	503.26	503.26	16	519.26	100.00%	3.18%
1	14	O I	258	258	18.5	276.5	100.00%	7.17%
1	15	O I	55				0.00%	0.00%
1	16	O I	582.96	562.96	16.5	579.46	96.57%	2.83%
1	17	O I	883	883	28	911	100.00%	3.17%
1	18	O I	437.99	437.99	28	465.99	100.00%	6.39%
1	19	I I	950	907	12	919	95.47%	1.26%
1	20	I I	1500	0			0.00%	0.00%
1	21	I I	1500	0			0.00%	0.00%
1	22	I I	1443	950	23	973	65.84%	1.59%
1	23	I I	1000	1000		1000	100.00%	0.00%
1	24	I O	1500	1500	17	1517	100.00%	1.13%
1	25	I I	1500	40	26	66	2.67%	1.73%
1	26	I O	600	0			0.00%	0.00%
1	27	I I	831	813.8	22	835.8	97.93%	2.65%
1	28	I O	893	0			0.00%	0.00%
1	29	I I	1500	1202	9	1211	80.13%	0.60%
1	30	I I	316	317	13	330	100.32%	4.11%
1	31	I O	1500	0			0.00%	0.00%
1	32	I O	1500	1500	9	1509	100.00%	0.60%
1	33	I I	920	920		920	100.00%	0.00%
1	34	I I	250	240	22	262	96.00%	8.80%
1	35	I I	1500	1450	26	1476	96.67%	1.73%
1	36	I I	190	150	20	170	78.95%	10.53%
1	37	I I	537	0			0.00%	0.00%
1	38	I I	1500	1500	6	1506	100.00%	0.40%
1	39	I O	741	0			0.00%	0.00%
1	40	I I	1500	1500		1500	100.00%	0.00%
1	41	I O	1400	0			0.00%	0.00%
1	42	I I	418	418		418	100.00%	0.00%
1	43	O I	1190	1189	20	1209	99.92%	1.68%
1	44	O I	961	0			0.00%	0.00%
1	45	O I	894	894		894	100.00%	0.00%
1	46	I O	1500	1321		1321	88.07%	0.00%
1	47	I O	1500	1500	17	1517	100.00%	1.13%
1	48	I O	1500	600		600	40.00%	0.00%
1	49	O O	380	0			0.00%	0.00%
1	50	O I	1226	1226	32	1258	100.00%	2.61%

請求内容

- 1 Damage from car accident
- 2 Recover funds paid another repair shop for correction of faulty maintenace
- 3 Mistake was made on receipt, ad charged too little.
- 4 Refund because plaintiff did not complete full course.
- 5 Car accident.
- 6 Hospital lost false teeth.
- 7 Passenger on bus. Bus had accident. Injuries.
- 8 Car accident.
- 9 Default on chattel.
- 10 Default on contract
- 11 Loss of income due to erroneous impound
- 12 Loan to repair auto
- 13 Goods purchased
- 14 Goods sold and delivered
- 15
- 16 goods sold and delivered
- 17 Goods purchased
- 18 Goods purchased
- 19 Costs to rebuild engine
- 20 Unpaid services rendered
- 21 Unpaid labor
- 22 Car accident
- 23 Damages to apartment left by tenant
- 24 Purchased defective used car
- 25 Misrepresenting insurance policy
- 26 Balance on sale of car
- 27 Personal loan
- 28 Tooth knocked out
- 29 Auto repair costs promised
- 30 Past due rent
- 31 Sick leave not properly handled
- 32 Due commissions
- 33 Damage from car accident
- 34 Car accident
- 35 Damage to car
- 36 Lost profits
- 37 Deposit for rental of shop
- 38 Personal loan
- 39 Car accident
- 40 Damage from car accident
- 41 Bank refused to remit insurance proceeds
- 42 Past due rent
- 43 Promissory note not paid
- 44 Note not paid
- 45 Note not paid
- 46 Dispute for claim compensation
- 47 Improper construction
- 48 Bailed furniture lost
- 49 Work performed
- 50 Default on promissory note

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
1	10	2/25/82	1			0	不明
2	6	2/25/82	1	3/12/82	15	0	支払い済み
3	1	2/11/82	1	5/19/82	97	0	支払い済み
4	6	2/22/82	1			0	不明
5	10	12/6/82	1			0	未払
6	6	2/22/82	1	3/23/82	29	0	支払い済み
7	10	2/9/82	1	3/9/82	28	0	支払い済み
8	10	2/11/82	1			0	不明
9	90	2/9/82	1	8/4/82	176	0	支払い済み
10	90	2/19/82	1			0	不明
11	9	2/22/82	1			0	不明
12	2	2/9/82	1	11/23/82	287	0	支払い済み
13	1	2/11/82	1	7/16/82	155	0	支払い済み
14	1	3/4/83	1			0	不明
15	99	2/22/82	0			0	
16	1	9/20/82	1			0	不明
17	1	2/11/82	1	5/10/82	88	0	支払い済み
18	1	2/11/82	1	8/31/82	201	0	支払い済み
19	1	2/22/82	1			0	不明
20	1	2/11/82	2			0	
21	1	2/11/82	2			0	
22	10	3/23/82	1	4/29/82	37	0	支払い済み
23	3	2/26/82	1	4/4/83	402	0	支払い済み
24	6	2/22/82	1			0	不明
25	9	2/26/82	1	3/23/82	25	0	支払い済み
26	1	2/26/82	2			0	
27	2	1/28/82	1			0	不明
28	9	7/14/82	2			0	
29	1	2/16/82	1			0	不明
30	3	1/26/82	1			0	不明
31	9	3/4/82	2			0	
32	9	2/5/82	1			0	不明
33	10	2/16/82	1	10/10/83	601	0	支払い済み
34	10	2/16/82	1			0	不明
35	10	2/22/82	1			0	未払
36	90	4/21/82	1			0	不明
37	8	2/26/82	2			0	
38	2	4/2/82	1	4/13/82	11	0	支払い済み
39	10	3/23/83	2			0	
40	10	5/4/82	1	2/28/83	300	0	支払い済み
41	6	2/9/82	2			0	
42	3	1/21/82	1			0	不明
43	2	2/11/82	1	6/8/82	117	0	支払い済み
44	2		7			0	
45	2	2/26/82	1	10/15/82	231	0	支払い済み
46	90	3/1/82	1	3/29/82	28	0	支払い済み
47	6	2/1/82	1			0	不明
48	6	2/11/82	1	2/18/82	7	0	支払い済み
49	1	2/11/82	2			0	
50	2	2/16/82	1	3/22/82	34	0	支払い済み

- 51 Failure to honor stoppayment order
- 52 Damage to car
- 53 Bought defective car
- 54 Damage from car accident
- 55 Tenant stole goods
- 56 Unpaid service rendered
- 57 Refused to pay telephone bill
- 58 Unpaid balance of loan
- 59 Failure to honor claim
- 60 Attorney services rendered
- 61 Car accident
- 62 Default on promissory note
- 63 Car accident
- 64 Bad check
- 65 Due for service rendered
- 66 Reimbursed for advance money for hotel reservations
- 67 Personal loan plus punitive damages
- 68 Unpaid utilities
- 69 Amount owed for accounting & bookkeeping work
- 70 For bom checks I vouched for defendants through my job
- 71 \$1349.98 loan at the credit union in San Francisco. Not one payment received
- 72 Delinquent money note, principal \$480.91, interest \$74.47, Date of last payment 9/15/80
- 73 Delinquent money note, principal \$1200.60, interest \$314.68, Date of last payment 4/15/78. Plaintiff waives excess.
- 74 Delinquent money note, principal \$528.22, interest \$216.08, Date of last payment 8/21/78
- 75 Delinquent money note, principal \$226.72, interest \$59.30, Date of last payment 7/15/79
- 76 Delinquent money note, principal \$1332.05, interest \$522.41, Date of last payment 9/24/78
- 77 Unpaid contract for telephone system. Date 12/8/81
- 78 Breach of contract for insulation work on a laundromat, partially performed. Date of contract 12/24/81
- 79 Purchase of materials on 5/30/81 not paid for.
- 80 Non payment of supplied & materials for house on 9/30/81
- 81 Merchandise purchased on a revolving security charge account on 3/27/81
- 82 Refund of rent at 910 Geary St. #26 from 4/1/81 to 1/1/82, threatened eviction & public nuisance, fraudulent concealment
- 83 Damage to '75 Toyota, from an accident at 270 Roosevelt Way on 4/18/81 at approximately 7:00 a.m.
- 84 For typing service provided in the months of June, July & August.
- 85 For a car paid for but does not work
- 86 Default on promissory note dated 2/15/80
- 87 Placement fee due for Joy S. Creese hired as assistant bookkeeper
- 88 Balance owing for temporary bookkeeping
- 89 Damage to personal property from flooding due to waterpipe break 11/17/81
- 90 Lost baggage from Utah to San Francisco 10/81
- 91 Default on installment payments
- 92 Unpaid bill
- 93 Unpaid bill for services
- 94 Default on installment payments
- 95 For goods & merchandise purchased 12/77 to present.
- 96 Default on promissory note
- 97 Auto accident on 1/9/82
- 98 Default on loan payment
- 99 Default on promissory note
- 100 Default on 12/24/80 conditional sales contract

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
51	6	2/17/82	2			0	
52	10	7/2/82	2			0	
53	6	2/4/82	2			0	
54	10	2/2/82	1	2/18/82	16	0	支払い済み
55	3	2/16/82	1			0	不明
56	1	2/11/82	2			0	
57	1	1/28/82	0			0	不明
58	2	3/22/82	0			0	不明
59	9	5/12/82	2			0	
60	1	2/9/82	1			0	不明
61	10	2/18/82	1	3/23/82	33	0	支払い済み
62	2	2/11/82	1			0	不明
63	10	2/10/82	1	4/16/82	65	0	支払い済み
64	90	2/11/82	1	3/29/82	46	0	支払い済み
65	1	3/17/82	1			0	不明
66	6	3/9/82	2			0	
67	2	1/28/82	1	3/1/82	32	0	支払い済み
68	3		7			0	
69	1	3/24/82	7			0	
70	2	2/10/82	1			0	不明
71	2	3/1/82	7			0	
72	2	5/4/82	1			0	不明
73	2	5/4/82	1			0	不明
74	2	6/4/82	1			0	不明
75	2	2/16/82	1			0	不明
76	2	5/4/82	1			0	不明
77	1	3/24/82	1			0	不明
78	1	2/18/82	1			0	支払い済み
79	1		0			0	
80	1	4/5/82	1			0	未払
81	1	3/1/82	1			0	不明
82	8	1/28/82	2			0	
83	10	2/18/82	1			0	支払い済み
84	9	2/11/82	1			0	支払い済み
85	6		0			0	
86	2		0			0	
87	1		0			0	
88	9	2/10/82	1			0	支払い済み
89	8	3/8/82	2			0	
90	6	1/28/82	1			0	不明
91	2	2/26/82	1			0	不明
92	1	2/16/82	1			0	不明
93	1	2/18/82	1			0	支払い済み
94	2	2/23/82	1			0	不明
95	1	2/17/82	1			0	不明
96	2	2/16/82	1			0	不明
97	10	3/19/82	1			0	不明
98	2	2/16/82	1	5/3/82	76	0	支払い済み
99	2	4/8/82	3			0	不明
100	1	5/11/82	1			0	

agreement.

調査者 番号	事件 番号	原告	被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額 (%)	認容された費用額 請求金額 (%)
3	101	O	I	317.25	317.25	20	337.25	100.00%	6.30%
3	102	I	I	560	977.98	22	999.98	174.64%	3.93%
3	103	O	I	1500	1089.78		1089.78	72.65%	0.00%
3	104	I	O	500	520		520	104.00%	0.00%
3	105	O	O	841	841	26	867	100.00%	3.09%
3	106	O	O	1000	1000	20	1020	100.00%	2.00%
3	107	O	I	1444.2	1392.2		1392.2	96.40%	0.00%
3	108	I	I	1500	1500	34	1534	100.00%	2.27%
3	109	I	O	1500				0.00%	0.00%
3	110	O	O	1287.8	0			0.00%	0.00%
4	111	O	I	284	0			0.00%	0.00%
4	112	I	O	197	0			0.00%	0.00%
4	113	I	I	40				0.00%	0.00%
4	114	O	I	194	0		0	0.00%	0.00%
4	115	I	I	1500	0			0.00%	0.00%
4	116	I	I	700	0			0.00%	0.00%
4	117	I	I	456	0			0.00%	0.00%
4	118	O	I	1500				0.00%	0.00%
4	119	I	I	1200				0.00%	0.00%
4	120	I	I	1500				0.00%	0.00%
4	121	I	I	400	407	21	428	101.75%	5.25%
4	122	I	I	375	379.5	21	400.5	101.20%	5.60%
4	123	O	I	1095.06	1095.06	24	1119.06	100.00%	2.19%
4	124	O	I	1500	1500	26	1526	100.00%	1.73%
4	125	O	I	1338.64	0			0.00%	0.00%
4	126	I	O	1154				0.00%	0.00%
4	127	O	I	1254.46				0.00%	0.00%
4	128	O	I	487.85	487.85	21	508.85	100.00%	4.30%
4	129	I	I	1500	1331.71	6	1337.71	88.78%	0.40%
4	130	I	O	1173.37	1073.37	37	1110.37	91.48%	3.15%
4	131	O	O	162.38	162.38	20	182.38	100.00%	12.32%
4	132	I	I	700	700	16	716	100.00%	2.29%
4	133	I	I	1500	1500		1500	100.00%	0.00%
4	134	O	I	717.79				0.00%	0.00%
4	135	I	O	709.22	531.92	17	548.92	75.00%	2.40%
4	136	I	I	500	500	6	506	100.00%	1.20%
4	137	I	O	1500	1500	20	1520	100.00%	1.33%
4	138	I	I	700	700	26	726	100.00%	3.71%
4	139	I	O	1064	0			0.00%	0.00%
4	140	I	I	1500	800	58	858	53.33%	3.87%
4	141	I	I	1500	0			0.00%	0.00%
4	142	I	I	1500	0			0.00%	0.00%
4	143	I	I	630	168	6	174	26.67%	0.95%
4	144	I	I	225	0			0.00%	0.00%
4	145	I	O	583.31	340.25	20	360.25	58.33%	3.43%
4	146	I	I	1414.74	1414.74	6	1420.74	100.00%	0.42%
4	147	I	I	1500	0			0.00%	0.00%
4	148	I	I	428	389.92		389.92	91.10%	0.00%
4	149	O	I	1054	1054	25	1079	100.00%	2.37%
4	150	I	I	305.7				0.00%	0.00%

- 101 Default on promissory note dated 6/29/79
- 102 Unlawful detainer --- rent due
- 103 Unpaid bills, checks written w/o sufficient funds
- 104 Return for deposit for cancelled cruise
- 105 Merchandise purchased 12/17/80 & 12/19/80. Unpaid balance.
- 106 For goods purchased 7/80-10/80
- 107 Promissory note unpaid
- 108 7 rooms of antique furniture taken from flat and damage to furniture remaining
- 109 Property damage, due to negligence in repairing down spout in 1980
- 110 Non payment of merchandise invoice on 5/21/81
- 111 Amount due on employment placement. Fee to Savin in May 1981. Last payment received wa
- 112 Damage to car when towed
- 113 Bounced check
- 114 Unpaid rent & unlawful detainer
- 115 Car accident
- 116 Unpaid promissory note
- 117 Non payment of personal loan
- 118 Unpaid rent & bills
- 119 Auto Accident
- 120 For unreturned property
- 121 Breach of contract
- 122 Breach of contract
- 123 Assorted merchandise purchased on 12/24/80, 9/15/83
- 124 Assorted merchandise purchased on 5/12/78, 12/22/79
- 125 Assorted merchandise purchased on 4/10/80, 12/5/79, 9/5/79, 8/6/79, 3/4/78
- 126 P's share of D's sale of jointly owned property.
- 127 Amount due on merchandise purchased on 5/15/81
- 128 Amount due for merchandise purchased on 1/27/81, 2/4/81, 2/25/81
- 129 Auto accident on 12/17/81
- 130 Damage to auto from filling of gas tank.
- 131 Refund for goods not conforming delivered & payment received.
- 132 Rent due 11/81, 12/81
- 133 Auto accident on 10/31/81. Damage to P's car
- 134 For legal services rendered in 9/81
- 135 Auto damage from 10/26/81 auto accident
- 136 Unlawful detainer for rent due
- 137 Overcharge on auto work
- 138 Rent past due 8/79, 9/79, 10/79
- 139 Broken tooth from food served on 1/13/81
- 140 Four channel TEAC Model 2340 taken out of hock 8/5/82
- 141 \$1352 money borrowed 8/1/79 for trip to Peru. \$375.80 money borrowed 4/8/80 for taxes
- 142 For back rent and damage to apartment vacated 12/18/81
- 143 Amount due as back pay for labor done 9/21/81-12/5/81
- 144 Personal loan due 8/81
- 145 Damage done to P's cart on 1/5/82 while it was being towed (car)
- 146 Auto accident 8/9/81
- 147 Auto accident 4/2/81
- 148 Unlawful detainer & rent past due
- 149 Default on promissory note
- 150 Payment of back rent & unlawful detainer

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
101	2	4/8/82	1			0	不明
102	3	2/11/82	1			0	支払い済み
103	1	3/1/82	1			0	不明
104	6	1/28/82	1	1/28/82	0	0	支払い済み
105	1	2/17/82	1			0	一部未払
106	1	3/8/82	1	3/8/82	0	0	支払い済み
107	2	2/17/82	1			0	不明
108	4	2/18/82	1	12/21/82	306	0	支払い済み
109	6	3/17/82	5			0	
110	1	2/17/82	2			0	
111	1	1/27/82	7			0	
112	6	2/16/82	2			0	
113	90		8			0	
114	3	1/26/82	1	3/3/82	36	0	支払い済み
115	10	2/15/82	7			0	
116	2	3/1/82	7			0	
117	2	2/10/82	7			0	
118	3		8			0	
119	10		8			0	
120	3		8			0	
121	90	2/23/82	1			0	未払
122	90	2/23/82	1			0	未払
123	1	4/4/82	1	9/15/83	529	0	支払い済み
124	1	3/30/82	1	9/30/83	549	0	支払い済み
125	1	2/16/82	2			0	
126	90		8			0	
127	1		8			0	
128	1	2/18/82	1	12/15/82	300	0	支払い済み
129	10	2/16/82	1			0	未払
130	6	2/17/82	1			0	不明
131	6	3/8/82	1			0	支払い済み
132	3	2/16/82	1			0	未払
133	10		1	10/15/83		0	支払い済み
134	1		4			0	不明
135	10	2/16/82	1	3/8/82	20	0	支払い済み
136	3	1/27/82	1			0	一部未払
137	6	2/16/82	1			0	不明
138	3	2/16/82	1	1/1/83	319	0	一部未払
139	6	2/18/82	7			0	
140	4	2/16/82	1			0	未払
141	2	2/16/82	2			0	
142	3	3/16/82	7			0	
143	9	2/17/82	0			0	未払
144	2	2/28/82	2			0	
145	6	2/18/82	1	4/5/82	46	0	支払い済み
146	10	2/18/82	1			0	不明
147	10	2/19/82	2			0	
148	3	2/25/82	0	5/1/82	65	0	支払い済み
149	2	2/16/82	0	7/27/82	161	0	支払い済み
150	3		8			0	

調査者 番号	事件 番号	原告	被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額(%)	認容された費用額 請求金額(%)
4	151	O	I	750	0			0.00%	0.00%
4	152	I	I	1340				0.00%	0.00%
4	153	I	O	630.82	0			0.00%	0.00%
4	154	O	I	949.75	250		250	26.32%	0.00%
4	155	I	I	1500	1480	20	1500	98.67%	1.33%
4	156	O	I	109.36	109.36	15	124.36	0.00%	13.72%
4	157	O	I	768.01	0			0.00%	0.00%
4	158	I	I	530				0.00%	0.00%
4	159	O	O	347.4	347.4	20	367.4	100.00%	5.76%
4	160	I	I	350	325	6	331	92.86%	1.71%
4	161	I	O	454.83	64.83	9	73.83	14.25%	1.98%
4	162	I	O	111.75	111.75	6	117.75	100.0%	5.37%
4	163	O	I	242.29	0			0.00%	0.00%
4	164	O	I	870.43				0.00%	0.00%
4	165	I	I	500	500	6	506	100.00%	1.20%
4	166	O	I	974.4	974.4	30.75	1005.15	100.00%	3.16%
4	167	I	O	776.87	131	26	157	16.86%	3.35%
4	168	I	I	305				0.00%	0.00%
4	169	O	O	1499.23	1499.23	20	1519.23	100.00%	1.33%
4	170	I	O	569	329.3	6	335.3	57.87%	1.05%
4	171	O	I	1352.33	1352.33		1352.33	100.00%	0.00%
4	172	I	O	216	0			0.00%	0.00%
5	173	O	I	179.34				0.00%	0.00%
5	174	I	I	529.99	529.99	6	535.99	100.00%	1.13%
5	175	I	O	750	0			0.00%	0.00%
5	176	I	O	620				0.00%	0.00%
5	177	O	I	10.88	0			0.00%	0.00%
5	178	O	I	469.3				0.00%	0.00%
5	179	I	O	1500				0.00%	0.00%
5	180	O	I	205.21	205.21	19	224.21	100.00%	9.26%
5	181	O	I	1443.98	0			0.00%	0.00%
5	182	I	O	1455.05	0			0.00%	0.00%
5	183	O	I	1500	0			0.00%	0.00%
5	184	I	I	1162	0			0.00%	0.00%
5	185	O	I	922.22	944.22		944.22	102.39%	0.00%
5	186	O	O	1315	1315	20	1335	100.00%	1.52%
5	187	O	I	1500				0.00%	0.00%
5	188	I	O	1202.5	1202.5	20	1222.5	100.00%	1.66%
5	189	I	O	80	0			0.00%	0.00%
5	190	I	I	1147	850	20	870	74.11%	1.74%
5	191	I	I	1500	750	34	784	50.00%	2.27%
5	192	I	I	520				0.00%	0.00%
5	193	I	I	1200	1188	20	1208	99.00%	1.67%
5	194	O	I	1500				0.00%	0.00%
5	195	O	I	1031.89				0.00%	0.00%
5	196	O	I	783.49	0			0.00%	0.00%
5	197	I	O	1500	0			0.00%	0.00%
5	198	I	O	1500	0			0.00%	0.00%
5	199	I	I	550	0			0.00%	0.00%
5	200	I	O	523.98	523.98	17	540.98	100.00%	3.24%

151 Breach of contract  
152 Auto accident  
153 Improper servicing of 1962 Ford T-Bird transmission on 7/7/80  
154 Unpaid balance for electric work in 11/81  
155 Personal loan due 6/6/81  
156 Default on promissory note on 5/9/77  
157 Default on promissory note  
158 For work completed & used by D on 9/21/81  
159 Money due for purchases of merchandise 5/81-7/81  
160 Set stereo headphones \$115, 3 pairs of pants \$40, remote control to TV \$80, phone bill  
161 Apartment security deposit \$50, credit check \$30, key deposit \$2, punitive damage \$200  
162 Back wages due  
163 Default on conditional sales contract dated 12/6/78  
164 Default on promissory note dated 3/30/79  
165 Auto accident 10/31/81  
166 Non payment of merchandise invoice 7/20/81  
167 Faulty auto repair 12/80, 6/81  
168 Unlawful detainer & past rent due  
169 Unpaid bhll for auto repair  
170 Auto accident 11/7/81  
171 Damage to trolley from accident on 10/22/80  
172 Damage to auto while being towed 1/4/82  
173 For supply and installation of glass in auto on 1/3/80  
174 Auto damage on 10/18/81 on Battery St. & Broadway  
175 Unauthorized purchase & transfer of car 10/81  
176 Damage to auto at 19 Moss St. while moving a piano on 10/10/81  
177 Unpaid subscription 7/81/ 9/81  
178 Bills, obligations and checks signed while a member of the Club in 1981.  
179 Auto accident on 12/1/81 at 5th & Bryant St.  
180 Default on promissory note dated 7/23/79. Last payment 12/29/81  
181 Default on promissory note dated and signed on 4/18/79. Last payment 11/23/82  
182 Retirement account. refusal to pay.  
183 Non payment for professional services --- breach of contract.  
184 Auto accident  
185 Unpaid bills  
186 Dishonored check presented in payment of truck parts purchased on 8/11/81  
187 Amount due for truck parts purchased on 7/8/81  
188 For failure to return subscription as specified in an agreement dated 9/30/79 for the  
189 Refund of two cars towed 10/12/81 & 11/4/81  
190 Damage to may car 172 VW from an accident at Geneva Ave. on 11/20/81 at 7:10 p.m.  
191 Auto damage to car, 1970 Toyota, on 9/26/81 at 1700 block on Sunnydale Ave.  
192 \$500 for harassment & threats made against P at P's place of work 10 to 15 times from  
193 Auto accident 12/5/81 at 359 Jones St.  
194 Damages to rental vehicle 10/16/81-10/18/81  
195 Past due rental charges, recovery fee and interest on past due amount from 7/30/81  
196 Damages to rental vehicle 8/8/81 on Polk St.  
197 Damages to car --- burned out transmission because D was using it without transmission  
198 Damage to car for burned out transmission 10/24/81  
199 D smashed windshield on vehicle 12/14/81, 1864 48 Ave.  
200 For 24 bedspreads. Invoice #267 dated 7/29/81

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
151	90	2/19/82	2			0	
152	10	3/24/82	7			0	
153	6	2/18/82	2			0	
154	1	2/16/82	3			0	未払
155	2	3/5/82	3			0	不明
156	2	2/23/82	1	2/23/82	0	0	支払い済み
157	2	3/10/82	7			0	
158	1		8			0	
159	1	2/18/82	1	4/15/82	56	0	支払い済み
160	1	1/28/82	1			0	未払
161	8	3/25/83	1	4/29/82	35	0	支払い済み
162	9	2/17/82	1			0	未払
163	1	3/22/82	2			0	
164	2		8			0	
165	10	3/24/82	1	9/3/82	163	0	支払い済み
166	1	3/5/82	1			0	未払
167	6	2/19/82	1			0	不明
168	3		8			0	
169	1	2/18/82	1			0	未払
170	10	2/19/82	1	3/7/82	16	0	支払い済み
171	10	3/8/82	1	5/17/82	70	0	支払い済み
172	6	2/17/82	2			0	
173	1		8			0	
174	10	4/26/82	1			0	不明
175	4	2/18/82	2			0	
176	6		8			0	
177	1	1/24/82	2			0	
178	2		8			0	
179	10		8			0	
180	2	2/16/82	1	7/1/82	135	0	支払い済み
181	2		7			0	
182	9	3/18/82	2			0	
183	1	2/17/82	7			0	
184	10		7			0	
185	1	2/16/82	1	1/10/83	328	0	支払い済み
186	1	3/2/82	1			0	一部未払
187	1	3/4/82	5			0	
188	6	2/16/82	1			0	未払
189	9	1/28/82	2			0	
190	10	4/5/82	1			0	未払
191	10	2/17/82	1			0	一部未払
192	9	3/9/82	5			0	
193	10	3/17/82	1			0	未払
194	1		8			0	
195	1		8			0	
196	1	2/16/82	2			0	
197	6	5/13/82	2			0	
198	6	8/10/82	2			0	
199	4	1/28/82	2			0	
200	1	2/17/82	1	4/6/82	48	0	支払い済み

調査者 番号	事件 番号	原告	被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額 (%)	認容された費用額 請求金額 (%)
5	201	O	O	200	0			0.00%	0.00%
5	202	I	O	600	0			0.00%	0.00%
5	203	O	O	1500	1526		1526	101.73%	0.00%
5	204	I	I						
5	205	I	I	217.6	0			0.00%	0.00%
5	206	O	I	890.6	1004.85		1004.85	112.83%	0.00%
5	207	O	I	293.71				0.00%	0.00%
5	208	I	I	1000				0.00%	0.00%
5	209	O	I	245				0.00%	0.00%
5	210	O	I	250				0.00%	0.00%
5	211	O	O	362.08	382.08		382.08	105.52%	0.00%
5	212	O	O	230.53				0.00%	0.00%
5	213	O	O	664.08				0.00%	0.00%
5	214	O	O	112.32				0.00%	0.00%
5	215	I	I	375	0			0.00%	0.00%
5	216	I	I	1484.69	1484.69		1484.69	100.00%	0.00%
5	217	I	O						
5	218	I	O	1500	1017		1017	67.80%	0.00%
5	219	O	I	1074.97	1099.97		1099.97	102.33%	0.00%
5	220	I	O	800				0.00%	0.00%
5	221	O	I	93.72				0.00%	0.00%
5	222	I	O	1500	1174	55	1229	78.27%	3.67%
5	223	I	O	1500	300	21	321	20.00%	1.40%
5	224	O	I	181				0.00%	0.00%
5	225	O	O	467.35				0.00%	0.00%
5	226	O	I	250	0			0.00%	0.00%
5	227	I	I	735	885.09	17	902.09	120.42%	2.31%
5	228	I	O	223.42	121.72	17	138.72	54.48%	7.61%
5	229	O	I	220	300.63	6	306.63	136.65%	2.73%
5	230	O	I	1130.01				0.00%	0.00%
5	231	O	I	1079.36	1079.36	25	1104.36	100.00%	2.32%
5	232	O	I	1500				0.00%	0.00%
5	233	O	I	1500	1454.33	20	1474.33	96.96%	1.33%
5	234	O	I	1313.11	0			0.00%	0.00%
5	235	O	O	1267.25	1267.25	43	1310.25	100.00%	3.39%
5	236	O	I	816.44	769	26	795	94.19%	3.18%
5	237	O	O	645.1	638.13	26	664.13	98.92%	4.03%
5	238	O	I	55.54	55.54	20	75.54	100.00%	36.01%
5	239	I	O	351.9	100	20	120	28.42%	5.68%
5	240	I	O	1500	800	6	806	53.33%	0.40%
5	241	I	O	830	810.83	20	830.83	97.69%	2.41%
5	242	I	I	582.83	582.83		582.83	100.00%	0.00%
5	243	I	I	700	515	6	521	73.57%	0.86%
5	244	I	I	750	686	20	706	91.47%	2.67%
5	245	O	I	101.11	101.11		101.11	100.00%	0.00%
5	246	O	I	270				0.00%	0.00%
5	247	I	O	750				0.00%	0.00%
5	248	O	I	959.48	959.48	26	985.48	100.00%	2.71%
5	249	I	I	1500	1500	6	1506	100.00%	0.40%
5	250	O	I	1000	1000	26	1026	100.00%	2.60%

201 For secretarial placement  
202 For rent 10/15/81-11/15/81 at 1858 Div/sadero St.  
203 Unpaid business loan  
204 Unknown  
205 Auto accident  
206 Damage to rental vehicle  
207 Damages to rental vehicle  
208 Auto accident  
209 Back rent & unlawful detainer  
210 Back rent & unlawful detainer  
211 Unpaid bill  
212 Unpaid bill  
213 Unpaid purchase bill  
214 Unpaid bill for goods  
215 Back rent & unlawful detainer  
216 Unpaid car repair bill  
217 Uncompleted and unsatisfactory work-breach of contract & damages to property.  
218 Refund of payment for unsatisfactory work  
219 Non-paid promissory note  
220 Unpaid wages  
221 Unpaid bill. D stopped check.  
222 Breach of contract and punitive damage  
223 D didn't return merchandize after loan was paid back with interest  
224 Overdue rent  
225 For copy service rendered  
226 Overdue rent. P wants \$8.33 for each day after 1982 as well.  
227 For rent due (\$385+\$12.83 per day after Jan 1982) and damage to property (\$350 for da  
228 D allegedly charged for services and parts defendant failed to provide, resulting in f  
229 Overdue rent (\$220+\$7.33 per day after Jan 1982)  
230 Default on promissory note signed in West Chester, Pa Note : 9/27/83 letter from D to P  
231 Default on promissory note signed in San Rafael, Ca.  
232 Default on promissory note  
233 Default on promissory note  
234 Default on promissory note signed in City and County of San Francisco  
235 Failure to pay for goods within 30 days of delivery to store, from 10/80-2/81  
236 Balance due on vehicle rental agreement dated 9/29/81, 10/2/81 and 10/30/81. Plus retur  
237 Service repairs on vehicle on 4/20/81 and stop payment on check dated 4/24/81  
238 Returned check on vehicle rental agreement dated 10/8/81  
239 Vandalism to car  
240 For reimbursement of stereo, cask, articles stolen from apartment  
241 Sale of defective stove  
242 Auto accident 10/1/81 at Van Ness & Bay St. 87  
243 Auto accident 6/16/81 at 6th & Bryant  
244 Personal loan 12/80  
245 Misappropriating student body funds  
246 Unlawful detainer  
247 Food poisoning 10/10/81  
248 For lighting supplies delivered 10/28/80  
249 Damage to car. Accident 9/22/81  
250 Personal loan due to repair auto on 4/10/81

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
201	1	2/9/82	7			0	
202	3	2/23/82	2			0	
203	2	3/29/82	1	5/11/82	43	0	支払い済み
204	99	2/17/82	5			0	
205	10	4/19/82	7			0	
206	1	2/18/82	1			0	未払
207	1		8			0	
208	10		8			0	
209	3		4			0	
210	3		8			0	
211	1	3/4/82	1	3/4/82	0	0	支払い済み
212	1		4			0	
213	1		4			0	
214	1		4			0	
215	3	1/18/82	7			0	
216	1		1			0	未払
217	6		8			0	
218	6	1/28/82	1			0	不明
219	2	2/9/82	1			0	不明
220	9		8			0	
221	1		8			0	
222	90	2/19/82	1			1	不明
223	7	3/29/82	1			0	不明
224	3		0			0	
225	1		0			0	
226	3	2/8/82	7			0	
227	3	2/22/82	1	5/12/82	79	1	一部未払
228	6	2/26/82	1	3/30/82	32	1	支払い済み
229	3	2/17/82	1	3/31/82	42	2	一部未払
230	2		4			0	支払い済み
231	2	2/24/82	1			2	不明
232	2	2/24/82	3			3	異義成功
233	2	5/7/82	1			0	不明
234	2	3/24/82	7			2	
235	1	2/24/82	1			0	不明
236	1	2/23/82	1			1	不明
237	1	2/23/82	1			1	不明
238	1	3/9/82	1			0	不明
239	4	2/25/82	1			1	支払い済み
240	4	3/16/82	1			1	支払い済み
241	6	2/26/82	1			0	未払
242	10	2/24/82	1			1	不明
243	10	3/16/82	3			1	未払
244	2	4/19/82	1			1	不明
245	4	3/8/82	1	4/10/82	33	0	支払い済み
246	3		8			0	
247	6		8			0	
248	1	6/29/82	1	3/17/83	261	0	一部未払
249	10	3/4/82	1			0	不明
250	2	2/16/82	1	12/2/82	289	0	一部未払

調査者 番号	事件 番号	原告	被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額 (%)	認容された費用額 請求金額 (%)
5	251	O	O	184.44		31.75	31.75	0.00%	17.21%
5	252	O	O	84.04				0.00%	0.00%
5	253	O	O	715.46	0			0.00%	0.00%
5	254	I	I	60	60	26	86	100.00%	43.33%
5	255	I	I	168	0			0.00%	0.00%
5	256	O	I	108.9	108.9	17	125.9	100.00%	15.61%
5	257	O	I	966.81	966.81	32	998.81	100.00%	3.31%
5	258	I	I	105	105	17	122	100.00%	16.19%
5	259	I	O	750	0			0.00%	0.00%
5	260	O	I	1500	1000		1000	66.67%	0.00%
5	261	I	I	1000	583.95	6	589.95	58.40%	0.60%
5	262	I	O	10				0.00%	0.00%
5	263	I	I	905.52				0.00%	0.00%
5	264	O	I	1250.56	1250.56	15	1265.56	100.00%	1.20%
5	265	I	O	750	0			0.00%	0.00%
5	266	O	I	1500	0			0.00%	0.00%
5	267	I	O	1500				0.00%	0.00%
5	268	I	I	395				0.00%	0.00%
5	269	O	I	425	210	26	236	49.41%	6.12%
5	270	I	O	855.36	0			0.00%	0.00%
5	271	I	I	60	25	9	34	41.67%	15.00%
6	272	O	I	725	0			0.00%	0.00%
6	273	I	I	300	300	6	306	100.00%	2.00%
6	274	I	I	1101.12	0			0.00%	0.00%
6	275	O	I	224.18	224.18	28	252.18	100.00%	12.49%
6	276	O	I	210.77	210.27	28	238.27	99.76%	13.28%
6	277	O	I	1277.58	1277.58		1277.58	100.00%	0.00%
6	278	O	I	348.33	348.33	23	371.33	100.00%	6.60%
6	279	I	O	450	0			0.00%	0.00%
6	280	I	I	500	253	17	270	50.60%	3.40%
6	281	I	O	245	245.01	17	262.01	100.00%	6.94%
6	282	I	I	343	343	26	369	100.00%	7.58%
6	283	O	I	290.59	290.59	20	310.59	100.00%	6.88%
6	284	O	I	1324.63	1324.63	20	1344.63	100.00%	1.51%
6	285	O	I	859.61	859.61	20	879.61	100.00%	2.33%
6	286	O	I	332.73	332.73	20	352.73	100.00%	6.01%
6	287	I	O	1500	0			0.00%	0.00%
6	288	I	I	150	100	6	106	66.67%	4.00%
6	289	I	O	1170	1170	20	1190	100.00%	1.71%
6	290	I	I	488.39	488.39	9	497.39	100.00%	1.84%
6	291	O	O	1408.24	692.6	20	712.6	49.18%	1.42%
6	292	I	I	446.17	446.17	20	466.17	100.00%	4.48%
6	293	I	I	1234	0			0.00%	0.00%
6	294	I	O	1480	0			0.00%	0.00%
6	295	O	O	1296	1296	17	1313	100.00%	1.31%
6	296	I	I	839.95				0.00%	0.00%
6	297	I	O	673.08	673.08	6	679.08	100.00%	0.89%
6	298	I	I	200	0			0.00%	0.00%
6	299	I	I	1500	0			0.00%	0.00%
6	300	I	O	247	247	6	253	100.00%	2.43%

251 Failure to honor negotiable instrument  
252 Failure to honor their cashier's check  
253 Failure to honor negotiable instrument cashed by P  
254 Wool socks borrowed 11/81  
255 Negligence in prescribing eyeglasses lense 11/24/81  
256 For clothes bought 12/18/81 + stop payment on check  
257 Non-payment of promissory note  
258 Deposit of telephone while being disconnected. check date 7/23/81  
259 Deposit of rent owed. dated 8/17/81  
260 Auto accident 11/13/81  
261 Auto accident 12/18/82  
262 Unwarranted handling charge for pickup of distributor 1/8/82  
263 For auto accident 11/10/81  
264 Default on 7/26/79 promissory note  
265 P fell into a 5 feet hole due to D's negligence  
266 For goods and merchandise purchased 2/68 to present.  
267 Back rent for 10/81 & 11/81. Utilities not paid \$280  
268 Unlawful detainer  
269 installation of a chimney chase 6/15/81  
270 Salary owed for 3 weeks 10/81. D wrote two bad checks  
271 Personal property taken  
272 Unpaid legal fees  
273 D deposited cash in bank accounts, but deposit was not acknowledged.  
274 Bad repair job on car  
275 Unpaid merchandise  
276 Unpaid merchandise  
277 Unpaid merchandise  
278 Unpaid merchandise  
279 Failure to respond to request for repair  
280 Back rent  
281 Unpaid bill for repair of ( ) equipment  
282 Unpaid rent (D cancelled money order)  
283 Default on promissory note  
284 Default on promissory note  
285 Default on promissory note  
286 Default on promissory note  
287 Break of contract to make "grand sweep" of P's house  
288 Cleaning deposit owed  
289 Architectural work done unpaid  
290 Auto accident  
291 Unpaid for merchandise  
292 Auto accident  
293 B/K —> Moving expenses, rent, furniture storage trunk rental  
294 Defective auto repair  
295 Admission of pension & profit sharing plans  
296 Refusal to honor guarantee on merchandise purchased  
297 No info  
298 Return of rent deposit  
299 P's parked car hit by D  
300 Personal property was stolen from P's vehicle. P works for D. Vehicle was stolen.

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
251	2	2/9/82	1	2/9/82	0	0	支払い済み
252	2	2/9/82	6	2/9/82	0	0	支払い済み
253	2	1/27/82	2			0	
254	4	2/16/82	1			0	未払
255	6	2/12/82	7			0	
256	1	2/16/82	1	3/25/82	37	0	支払い済み
257	2	2/17/82	1			0	不明
258	8	2/17/82	1	2/17/82	0	0	支払い済み
259	8	2/16/82	2			0	
260	10	4/26/82	3			0	支払い済み
261	10	2/17/82	1			0	未払
262	6		8			0	
263	10		1			0	不明
264	2	3/9/82	1			0	不明
265	9	2/11/82	7			0	
266	1	1/12/82	7			0	
267	3		8			0	
268	3		8			0	
269	1	2/22/82	1	2/22/82	0	0	支払い済み
270	9		7			0	
271	4	5/3/82	1			2	不明
272	1	3/8/82	7			0	
273	6	2/25/82	1			1	不明
274	6	2/25/82	2			1	
275	1	2/25/82	1			2	不明
276	1	2/25/82	1			2	不明
277	1	3/24/82	1			1	不明
278	1	2/25/82	1			2	不明
279	6	2/24/82	2			4	
280	3	2/24/82	1			2	不明
281	1	2/24/82	1			2	不明
282	3	2/23/82	1			2	不明
283	2	2/23/82	1			2	不明
284	2	2/23/82	1			2	不明
285	2	2/23/82	1			2	不明
286	2	2/23/82	1			2	不明
287	6	2/23/82	2			1	
288	6	2/23/82	1	3/4/82	9	0	支払い済み
289	1	2/23/82	1	9/7/82	196	2	支払い済み
290	10	2/23/82	1			3	不明
291	1	2/23/82	1	4/12/82	48	1	支払い済み
292	10	2/23/82	1	4/21/82	57	2	支払い済み
293	8	2/22/82	2			1	
294	6	2/22/82	2			1	
295	4	2/22/82	1			2	一部未払
296	1	2/22/82	6			1	
297	99	2/19/82	1			1	不明
298	8	2/19/82	2			1	
299	10	2/17/82	7			0	
300	4	2/17/82	1			0	不明

調査者 番号	事件 番号	原告	被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額 (%)	認容された費用額 請求金額 (%)
6	301	O	I	580	612		612	105.52%	0.00%
6	302	O	O	400	0			0.00%	0.00%
6	303	I	I	1200	0			0.00%	0.00%
6	304	O	O	489.69	0			0.00%	0.00%
6	305	I	O	144	0			0.00%	0.00%
6	306	I	I	197	0			0.00%	0.00%
6	307	I	I	1500	1500	7	1507	100.00%	0.47%
6	308	I	O	1206	0			0.00%	0.00%
6	309	I	I	195	275.59	16	291.59	141.33%	8.21%
6	310	I	I	1040	0			0.00%	0.00%
6	311	I	I	505	0			0.00%	0.00%
6	312	O	I	322.5	212.47	12	224.47	65.88%	3.72%
6	313	O	I	404	484.87	12	496.87	120.02%	2.97%
6	314	I	I	275	262.4	12	274.4	95.42%	4.36%
6	315	I	I	880	880	9	889	100.00%	1.02%
6	316	I	I	1440	1380	17	1397	95.83%	1.18%
6	317	I	O	142.15	142.15	16	158.15	100.00%	11.26%
6	318	I	I	300	300	12	312	100.00%	4.00%
6	319	I	O	47	47	20	67	100.00%	42.55%
6	320	I	I	1500	1500	9	1509	100.00%	0.60%
6	321	I	O	371.5	283	17	300	76.18%	4.58%
7	322	I	O	1500				0.00%	0.00%
7	323	I	O	1500				0.00%	0.00%
7	324	I	I	1500	291.16	17	308.16	19.41%	1.13%
7	325	I	I	1412				0.00%	0.00%
7	326	O	I	1117.2				0.00%	0.00%
7	327	I	I	1000	0			0.00%	0.00%
7	328	I	I	950	0			0.00%	0.00%
7	329	O	I	870				0.00%	0.00%
7	330	I	I	726	726	26	752	100.00%	3.58%
7	331	I	I	750				0.00%	0.00%
7	332	O	I	651.52	0			0.00%	0.00%
7	333	O	I	615.7	0			0.00%	0.00%
7	334	O	I	569.81				0.00%	0.00%
7	335	I	I	535				0.00%	0.00%
7	336	I	I	500				0.00%	0.00%
7	337	O	I	477.49	0			0.00%	0.00%
7	338	O	I	425.18	425.18	44	469.18	100.00%	10.35%
7	339	I	I	300				0.00%	0.00%
7	340	O	I	290				0.00%	0.00%
7	341	O	I	268				0.00%	0.00%
7	342	O	I	185				0.00%	0.00%
7	343	I	I	138.08				0.00%	0.00%
7	344	O	O	44.36				0.00%	0.00%
7	345	O	O	535.8	535	36	571	99.85%	6.72%
7	346	I	I	600	0			0.00%	0.00%
7	347	I	O	300	0			0.00%	0.00%
7	348	O	O	409.77	0			0.00%	0.00%
7	349	I	I	375	375	9	384	100.00%	2.40%
7	350	I	I	100	0			0.00%	0.00%

301 Unpaid bill for services  
302 Violation of contract by which P had sole right to maintain property.  
303 Necklace D would not return.  
304 Merchandise unpaid for.  
305 Air Tickets refund  
306 Back rent + eviction. P claims \$6.57/day as well.  
307 Back rent + eviction. P claims \$16.13/day as well.  
308 P's employment terminated. P wants \$ for relocation expenses & overtime.  
309 Back rent. P claims \$9.5/day as well.  
310 Back rent + eviction. P claims \$10/day as well  
311 Back rent + eviction. P claims \$16.84/day as well  
312 Back rent + eviction. P claims \$7.33/day as well  
313 Back rent + eviction. P claims \$8.93/day as well  
314 Failure to pay rent + eviction. P claims \$9.16/day as well  
315 D sold a statue for P, but has not returned enough money to P.  
316 Back rent + eviction  
317 Refund on dress purchased from D  
318 \$ left in escrow  
319 Refund of rental fee, certified mail charges. and transportation to office  
320 Back rent  
321 Auto accident  
322 Auto accident  
323 Belongings locked up in hotel room  
324 Unlawful eviction + Attorney fees  
325 Rent, cleaning fee, door ( ), phone bill  
326 Plumbing services  
327 Refund of purchase price of car  
328 Back rent + eviction. P claims \$22.5/day as well  
329 Default on promissory note  
330 Default on promissory note  
331 Unpaid bill for entertainment  
332 Balance of bill for plumbing  
333 D purchased good over time and has not paid  
334 Merchandise purchased  
335 Back rent + eviction. P claims \$17.84/day as well  
336 Auto accident  
337 Default on promissory note  
338 Unpaid merchandise  
339 Overpayment of rent  
340 Back rent + eviction. P claims \$9/day as well  
341 Back rent + eviction. P claims \$8.93/day as well  
342 (Back rent + eviction.) P claims \$6.17/day as well  
343 Auto accident  
344 Merchandise unpaid for  
345 Refund of deposit given to ( ) sevice  
346 Auto accident  
347 Damage to property  
348 Auto accident  
349 Work not performed under contract for which P already paid  
350 Failure to pay for new fence

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
301	1	2/16/82	1			0	不明
302	4	2/16/82	7			0	
303	4	2/16/82	7			0	
304	1	1/26/82	7			0	
305	6	2/2/82	7			0	
306	3	2/5/82	7			0	
307	3	2/8/82	1			0	不明
308	9	2/9/82	7			0	
309	3	2/11/82	1			2	未払
310	3	2/11/82	2			4	
311	3	2/11/82	7			1	
312	3	2/11/82	1			1	支払い済み
313	3	2/11/82	1			2	未払
314	3	2/11/82	1			0	不明
315	6	2/23/82	1			2	不明
316	3	2/22/82	1			2	未払
317	6	2/23/82	1			2	不明
318	90	2/23/82	1			2	不明
319	6	2/24/82	1			2	不明
320	3	2/24/82	1			1	不明
321	10	2/24/82	1			1	不明
322	10		0			0	
323	6		0			0	
324	8	6/30/82	1	8/10/82	41	1	支払い済み
325	3		0			0	
326	1		0			0	
327	6		7			0	
328	3		7			2	
329	2		0			0	
330	2		1			1	不明
331	1		0			0	
332	1	7/8/82	2			1	
333	1		7			0	
334	1		0			0	
335	3		0			0	
336	10		0			0	
337	2		7			1	
338	1	9/10/82	1			2	不明
339	8		0			0	
340	3		0			0	
341	3		0			0	
342	3		0			0	
343	10		0			0	
344	1		0			0	
345	6	4/13/82	1			2	不明
346	10	4/12/82	2			1	
347	4	4/8/82	2			1	
348	10	3/30/82	2			2	
349	6	3/30/82	1			2	不明
350	1	3/25/82	2			1	

調査者 番号	事件 番号	原告 被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額 (%)	認容された費用額 請求金額 (%)
7	351	O I	968.26	968.26	31	999.28	100.00%	3.20%
7	352	I O	47.5	20	6	26	42.11%	12.63%
7	353	I I	1500	1500	18	1518	100.00%	1.20%
7	354	I O	275	0			0.00%	0.00%
7	355	I O	731	731	20	751	100.00%	2.74%
7	356	I O	1119.82	1012	20	1032	90.37%	1.79%
7	357	I I	700	0			0.00%	0.00%
7	358	O I	207.5	217.5	9	226.5	104.82%	4.34%
7	359	I I	1500	770	6	776	51.33%	0.40%
7	360	O I	1423.78	1423.78	43	1466.78	100.00%	3.02%
7	361	O I	212.07	157.07	20	177.07	74.07%	9.43%
7	362	O I	1447.99	1447.99	27.5	1475.49	100.00%	1.90%
8	363	O I	152.08	152.08	26.75	178.83	100.00%	17.59%
8	364	O I	934.89	934.89	23.5	958.39	100.00%	2.51%
8	365	O I	852.42	800.39	20	820.39	93.90%	2.35%
8	366	O I	1055.57	1055.57	6	1061.57	100.00%	0.57%
8	367	I I	267.5	267.5	6	273.5	100.00%	2.24%
8	368	O I	155.71	155.71	36	191.71	100.00%	23.12%
8	369	I I	750	750	6	756	100.00%	0.80%
8	370	I I	500	500	6	506	100.00%	1.20%
8	371	I O	1500	1500	20	1520	100.00%	1.33%
8	372	I I	1019.14	500	16	516	49.06%	1.57%
8	373	I I	1420.47	1420.47		1420.47	100.00%	0.00%
8	374	I I	1457	1457	20	1477	100.00%	1.37%
8	375	I I	1062.36	400	20	420	37.65%	1.88%
8	376	O I	440.31				0.00%	0.00%
8	377	O O	215.92				0.00%	0.00%
8	378	O O	150.85				0.00%	0.00%
8	379	I I	103.5				0.00%	0.00%
8	380	I I	375				0.00%	0.00%
8	381	I O	500				0.00%	0.00%
8	382	O I	585.23				0.00%	0.00%
8	383	O O	1500	0			0.00%	0.00%
8	384	O O	320	0			0.00%	0.00%
8	385	I I	220	0			0.00%	0.00%
8	386	I I	200	0			0.00%	0.00%
8	387	I I	1500	0			0.00%	0.00%
8	388	I O	283	0			0.00%	0.00%
8	389	I I	85.74	0			0.00%	0.00%
8	390	I O	1500	0			0.00%	0.00%
8	391	O O	362.53	0			0.00%	0.00%
8	392	I I	1048.95	0			0.00%	0.00%
8	393	I I	80	0			0.00%	0.00%
8	394	I O	1500	0			0.00%	0.00%
8	395	O I	360.41	0			0.00%	0.00%
8	396	O I	189.91	0			0.00%	0.00%
8	397	I I	363.41	0			0.00%	0.00%
8	398	I I						
8	399	O I	68.61	0			0.00%	0.00%
8	400	O I	75.43	0			0.00%	0.00%

351 Unpaid bills  
352 Cleaner lost belt  
353 Services performed as a screen writer  
354 Services rendered as computer consultant  
355 P did work for D. D paid with check. Check bounced.  
356 Auto accident  
357 Damage to house roof-work done.  
358 Balance of account unpaid  
359 Auto accident  
360 Default on promissory note  
361 Unpaid merchandise  
362 Default on promissory note  
363 Unpaid phone bill  
364 Master charge account  
365 Master charge account  
366 For work produced last August, September, October 1981  
367 Reimbursement of \$250 payment made on automobile  
368 Unpaid tuition  
369 Personal loan  
370 Back rent and interests  
371 Clothes altering unpaid for  
372 Accident, personal injury, constructive eviction  
373 Auto accident  
374 Back rent  
375 Damage to clothing due to PCB  
376 Installment loan stayed 9/23/80  
377 Merchandise purchased on 9/28/81  
378 Merchandise purchased on 11/16/80  
379 Refund money for soccer uniforms that P had to cancell  
380 Rent for January & damage to door  
381 Damage due to defective repairs  
382 Master Charge Account  
383 Misrepresentation of freight charges  
384 D charged P for refrigerator display case intended for temporary use, and has failed t  
385 Overdue rent. P claims \$7.33 perday as well  
386 Overdue rent. P claims \$6.17 per day after Dec. 1981  
387 Auto accident at Clementina & 5th Streets.  
388 Damage to auto's break  
389 Back rent and telephone bill  
390 Damage to P's credit rating  
391 Damage during transit of merchandize  
392 Auto accident at San Jose & Sickie Ave.  
393 Nonpayment for VISA charge  
394 Recover compensation for lost and destroyed pieces of luggage  
395 Master charge account. Last paid \$47(9/8/81)  
396 Master charge account  
397 Rent. P claims \$5.17 per day after Jan 1982 as well  
398 No info in file  
399 Unpaid charges for telephone service  
400 Unpaid telephone bill

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
351	1	3/24/82	1			2	不明
352	6	3/24/82	1			1	支払い済み
353	1	3/23/82	1			1	不明
354	1	3/17/82	7			0	
355	1	3/11/82	1			1	不明
356	10	3/11/82	1			2	不明
357	1	3/10/82	2			1	
358	1	3/9/82	1	5/6/82	58	2	支払い済み
359	10	3/9/82	1	5/28/83	445	1	支払い済み
360	2	3/9/82	1	8/20/82	164	2	支払い済み
361	1	3/9/82	1	7/15/82	128	2	支払い済み
362	2	3/9/82	1			1	不明
363	1	2/23/82	1			1	一部未払
364	2	3/9/82	1			2	不明
365	2	3/29/82	1			2	不明
366	1	2/22/82	1			2	不明
367	6	3/25/82	1			1	不明
368	1	2/23/82	1			2	未払
369	2	3/25/82	1			2	不明
370	3	2/22/82	1			2	不明
371	1	2/22/82	1			2	未払
372	90	2/22/82	1			2	不明
373	10	8/15/82	1			0	不明
374	3	3/2/82	1			1	不明
375	6	2/25/82	1			1	支払い済み
376	2		0			0	
377	1		0			0	
378	1		0			0	
379	6		0			0	
380	3		0			0	
381	6		0			0	
382	2		0			0	
383	6	3/29/82	2			1	
384	6	3/1/82	2			1	
385	3	4/19/82	2			1	
386	3	4/19/82	2			1	
387	10	3/25/82	9			1	
388	6	2/22/82	2			0	
389	3		7			0	
390	6	2/19/82	9			0	
391	6		7			0	
392	10	3/10/82	2			1	
393	7	2/22/82	2			0	
394	6		7			0	
395	2		7			1	
396	2		7			2	
397	3		7			1	
398	99		5			0	
399	1		7			0	
400	1		7			0	

調査者 番号	事件 番号	原告	被告	請求金額(\$)	認容金額(\$)	認容された 費用額(\$)	判決額(\$)	認容金額 請求金額 (%)	認容された費用額 請求金額 (%)
8	401	O	I	231.54	0			0.00%	0.00%
8	402	O	I	74.94	0			0.00%	0.00%
8	403	O	I	109.44	0			0.00%	0.00%
8	404	I	I	800	500	12	512	62.50%	1.50%
8	405	I	I	1500	760	20	780	50.67%	1.33%
8	406	I	O	1500	1500	20	1520	100.00%	1.33%
8	407	O	I	126.68	126.68	26	152.68	100.00%	20.52%
8	408	O	I	82.36	82.36	31.75	114.11	100.00%	38.55%
8	409	O	I	110.27	110.27	26.75	137.02	100.00%	24.26%
8	410	O	I	165.23	165.23	26.15	191.38	100.00%	15.83%
8	411	O	I	319.8	319.8	26.75	346.55	100.00%	8.36%
8	412	O	I	1035.66	1035.66	26.75	1062.41	100.00%	2.58%
9	413	O	I	707	0			0.00%	0.00%
9	414	O	I	1384	1384	22	1406	100.00%	1.59%
9	415	I	I	1499	0			0.00%	0.00%
9	416	I	I	1300	0			0.00%	0.00%
9	417	O	I	1130	1079	25	1104	95.49%	2.21%

- 401 Unpaid telephone bill
- 402 Unpaid telephone bill
- 403 Unpaid telephone bill
- 404 Overdue rent. P claims \$10 per day after Jan 1982 as well
- 405 Illegal lockout and interruption of utilities for purposes of terminating tenancy.
- 406 Refuses to return our money after loan was disapproved
- 407 Unpaid telephone charge
- 408 Unpaid telephone charge
- 409 Unpaid telephone charge
- 410 Unpaid telephone charge
- 411 Unpaid telephone charge
- 412 Unpaid telephone charge
- 413 Default on promissory note
- 414 Default on promissory note
- 415 Low work home remodel
- 416 Car accidrnt damage
- 417 Default on promissory note

	請求内容区分	決定日	決定区分	支払日	支払日数	出頭状況	支払の有無
401	1		7				0
402	1		7				0
403	1		7				0
404	3	2/9/82	1	11/17/82	281	1	支払い済み
405	8	3/24/82	1	4/29/82	36	1	支払い済み
406	7	3/10/82	1	4/30/82	51	0	支払い済み
407	1	2/25/82	1	7/20/82	145	0	支払い済み
408	1	2/25/82	1	2/16/83	356	0	支払い済み
409	1	2/25/82	1	9/10/82	197	2	支払い済み
410	1	2/23/82	1	9/7/82	196	1	支払い済み
411	1	4/19/82	1	1/18/83	274	2	支払い済み
412	1	3/2/82	1	5/3/82	62	2	一部未払
413	2	3/18/82	7				0
414	2	3/4/82	1				0 不明
415	6	3/4/82	2				0
416	10	2/8/82	7				0
417	2	2/24/82	1				2 一部未払

## 付録2 電話インタビュー結果

事件番号	インタビュー結果及調査者のノート
33	Defendant finished time payments last week.
80	Note : -- Case appealed to Supsrior court
93	Defendant paid at trial 2/18
102	P regained possession of premises too.
104	D paid at the trial.
105	P has filed no writ.
106	D paid at the trial.
108	Yes, through writ of execution.
112	plaintiff not appealing
114	premises returned by sheriff
121	Unsuccessful garnishment / attachment of bank account--no funds.
122	Unsuccessful garnishment
129	P didn't want to keep "hussling" with D for money.
131	D paid the trial
132	Unsuccessful garnishment of wages.
133	D paid at \$50 per month
136	P recieved possession of rental unit only because D had no money.
138	\$6.86 was collected and \$44.75 due. About 1/1/83.
140	D appealed to Superior court.
143	Writ of execution tried but in fail because P couldn't serve writ of execution.
148	P regained possession of rental unit too.
154	for D \$913 awarded. P tried unsuccessful attachment of D's bank account which had no funds.
160	Unsuccessful garnishment of wages
162	D appealed case to Superior court
166	D disappeared.

事件番号	インタビュー結果及調査者のノート
169	D is insolvent and presently unemployed.
180	3/25/81 partial collection of \$162.6. Still collecting through garnishment. 7/1/82 The rest was collected
185	Writ of execution served 12/7/82. Sheriff took car into possession to pay writ. D paid 1/10/83.
186	Still collecting. Has collected \$291 to date--collection by garnishment.
188	Judgment wholly unsatisfied. Garnishment produced zero dollars.
190	D appealed judgment & still pending
191	Partial satisfaction of \$576 through garnishment. \$221 outstanding.
193	P filed an "application and order of examination" to collect judgment from D in the municipal court.
206	unsatisfied writ of execution
209	D left property so P did not follow up on suit
211	D paid at court on 3/4/82
216	D appealed to superior court and execution stayed.
218	Writ of execution issued on 2/18/82
219	To be paid \$50/month
227	5/12/82 P regained possession of premises with aid of sheriff and writ of execution, but did not recover money. 3/12/82 Notice of appeal filed. 5/12/82 sheriff placed P in possession of premises.
228	3/30/82 Deputy Sheriff took from d's place of business contents incl furnitures & fixtures. Pursuant to P's attorney's instructions, sheriff seized \$190.72 and released fixtures. Shrf's fee \$49. Balance of \$141.72 applied to satisfaction
229	By writ of execution, partial satisfaction of \$250) 3/31/82 P files writ of execution to recover balance of \$56.63 plus \$3 fee for issuance of writ.
230	P collected judgment
231	Generally P collects 40% of judgments. No information on sheduled cases. Major problem in collecting judgment is in locating D's assets. Ds are often unemployed.

事件番号	インタビュー結果及調査者のノート
232	P was awarded \$1500 on 2/24 but D won the motion to vacate default judgment. 5/12 P takes nothing from D.
233	On 7/13/83 P filed order of execution requiring D to appear in court on 7/25/83 for failing to satisfy judgment.
239	P recovered entire judgment
240	P recovered entire judgment
241	No answer to call but 3/11/82 D files notice of appeal
243	D recovers \$150 plus \$3 costs. On 4/21/82 P's insurance company pays \$153. P did not recover \$515
248	3/17/83 \$637.5 collected, \$321.92 uncollected.
250	12/2/82 \$300.43 was collected through garnishment The rest \$729.07 is still uncollected (Called on 10/22/83)
251	2/9/82 case settled and collected if any
252	2/9/82 case settled and collected if any
254	Garnishment produced insolvent D + unsatisfied debt.
257	Writ of execution filed
258	2/17/82 D paid at trial.
261	3/1/82 D appealed to Superior court. Case still pending.
263	Judgement appealed to Superior court on 3/24/82
264	
268	D left property so P did not follow up
269	D paid at the trial
309	No collection
313	Unable to collect. Sent to collection agency. P sent the claim to the collection agency
316	No collection
324	D sued P for breach of contract. The sum awarded P contains a set-off.

事件番号	インタビュー結果及調査者のノート
363	(注)
368	No info by interview but in file P filed a lien
404	5/25/82 P files writ of execution to try to recover \$515. On 6/1/82 P files
405	Yes, by writ of execution and garnishment of D's bank account with Bank of America
406	
407	P recovered judgment
408	P collected judgment
409	P collected judgment by filing writ of execution
411	On 4/27/82 writ of execution & orders to withhold earnings was unsuccessful. On 8/31/82 writ of execution and order to withhold earnings recovered \$385.76 from D. After collection fee, P received \$370.26
412	P recovered \$612.76 less \$15 collection fee through writ of execution and order to withhold earnings.
413	(注)
414	(注)
417	This company generally recovers 40% of judgment

(注) 事件363、413、414などの原告(表4の“AA電話会社”)に関する注。

The company said that generally the company collects 60% of its small claims. Major problem in collections are : 1 Service of process, 2 D cannot be contacted between judgments and execution of judgment, 3 No access to execution on (marginally employed) D's change jobs or are dismissed from jobs, so that D's wages are hard to garnish.

There's jurisdictional problems that it is P's burden to bring small claims court actions in D's jurisdiction. P has stopped using small claims court because of expenses of court. Now uses collection agency instead.

付録3 訴訟申し立て送達用書式

**MUNICIPAL COURT, SMALL CLAIMS DIVISION, CITY AND COUNTY OF SAN FRANCISCO**

(To protect your rights, notify the court if you change your address.) City Hall, Room 164 Civic Center San Francisco, CA 94102 (415) 558-3212 (To protect your rights, notify the court if you change your address.) Case Number S.C. \_\_\_\_\_

PLAINTIFF: Name and address \_\_\_\_\_ DEFENDANT: Name and address of each \_\_\_\_\_

and DOES I-X, inclusive \_\_\_\_\_

**CLAIM OF PLAINTIFF**

1. Defendant owes plaintiff the sum of: \$ \_\_\_\_\_, not including court costs, for \_\_\_\_\_

2. plaintiff has demanded that defendant pay this sum and it has not been paid.

3. This court is the proper court for the hearing because

a.  At least one defendant now resides or a corporate defendant does business in San Francisco ;

b.  Injury to person or damage to personal property occurred in San Francisco ;

c.  Other (Specify) \_\_\_\_\_

4. I understand that I have no right of appeal from a judgment on my claim. And further that ;

a. I may talk to an attorney, but I cannot be represented by an attorney at the trial in the small claims division ;

b. I must appear at the time and place for trial and have with me witnesses, papers, and other items needed to prove my claim ;

I declare (certify) under penalty of perjury that the foregoing is true and correct and that this declaration is executed on (Date): \_\_\_\_\_, at (Place): \_\_\_\_\_, California.

Signature of declarant \_\_\_\_\_

**ORDER SETTING TRIAL**

NOTICE TO DEFENDANT: This claim has been filed against you. Hearing is set for the date and time last shown below:

DATE	TIME	PLACE TO APPEAR
_____	_____	<input type="checkbox"/> Department 1, Room 310, Third Floor,
_____	_____	City Hall, Civic Center
_____	_____	<input type="checkbox"/> _____
_____	_____	_____

IF YOU DO NOT APPEAR THE COURT MAY AWARD PLAINTIFF THE AMOUNT FOUND TO BE DUE UPON PLAINTIFF'S CLAIM AND ALSO COSTS OF THE ACTION INCLUDING COST OF SERVICES OF THIS ORDER WHICH COULD RESULT IN GARNISHMENT OF YOUR WAGES AND TAKING OF YOUR MONEY OR PROPERTY. THE COURT MAY ALSO GRANT ADDITIONAL RELIEF. SEE OTHER IMPORTANT ON THE REVERSE SIDE.

Dated: \_\_\_\_\_ Clerk/Administrator by \_\_\_\_\_ Deputy

The declaration under penalty of perjury must be signed in California, or in a state that authorizes use of a declaration in place of an affidavit ; otherwise an affidavit is required. CCP 116.2, 116.4, 116.6, 117.1

SCF1 CLAIM OF PLAINTIFF AND ORDER THIS FORM MUST BE TYPEWRITTEN

AVISOI: Usted ha sido demandado. 注意：你現被人在此法庭控告。 NOTICE: You have been sued.

Name, Address and Telephone No. of Plaintiff	Space Below for Use of Court Clerk Only
<b>REQUEST FOR DISMISSAL</b>	
Plaintiff (s):	CASE NUMBER S.C. _____
Defendant (s):	
(Abbreviated Title)	
<p><b>NOTICE TO THE PLAINTIFF.</b> If your claim is settled before the date set for trial, or if you decide you do not wish to proceed, complete this form and file it with the Clerk, Small Claims Division, City Hall, Room 164, San Francisco, CA 94102.</p> <p style="text-align: center;"><b>If you have served the defendant you must notify him you have dismissed your claim.</b></p>	
<hr/> <p><b>TO THE CLERK OF THE SMALL CLAIMS COURT:</b></p> <p>Please dismiss this claim <input type="checkbox"/> as to all defendants  <input type="checkbox"/> as to defendant (s) (Names (s) ) _____</p> <p>_____ only</p> <p><input type="checkbox"/> without prejudice.  <input type="checkbox"/> with prejudice.</p> <p>Dated : _____ Plaintiff (s)</p>	
<p><b>Notes.</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. A "dismissal without prejudice" means that the claim is closed only because you do not wish to proceed with it at this time, and you are not giving up your right to file a new claim for the same obligation at a later date.</li> <li>2. A "dismissal with prejudice" means that the claim is closed and you can never again, file a claim for the same obligation.</li> <li>3. This form may be signed by an officer or authorized agent for a corporation or a partnership. An owner must sign for a sole proprietorship. Otherwise the plaintiff, or each of them, must sign.</li> <li>4. If a Claim of Defendant has been filed, dismissal of Plaintiff's Claim will not operate to dismiss the Claim of Defendant, nor will dismissal of a Claim of Defendant operate to dismiss the Claim of Plaintiff.</li> <li>5. Do not use this form if a judgment has been rendered. See the Clerk.</li> </ol>	